

# 山梨県

プロジェクト期間：  
平成 23 年 02 月 23 日

平成 24 年 03 月 31 日

## 協働プログラム

- ・ NPO 基盤強化プログラム
- ・ 高齢者向け ICT 活用推進プログラム
- ・ 障害者向け支援プログラム
- ・ 教育分野人材育成プログラム
- ・ 医療機関関係者支援プログラム
- ・ 農業従事者支援プログラム
- ・ IT ベンチャー支援プログラム

資料：  
山梨県常住人口調査（平成24年2月1日）  
山梨県内 NPO 法人数（平成 24 年 1 月 31 日現在）  
平成 21 年「経済センサス-基礎調査」  
平成 22 年「人口動態統計」  
平成 22 年度 山梨県高齢者福祉基礎調査

地方	中部地方
面積	4,465.37 km <sup>2</sup>
知事	横内正明氏
県庁所在地	〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
総人口	856,033人（2012 年 02 月 01 日現在）
NPO 法人認証数	421（2012 年）
情報通信業	361（2009 年）
農林漁業	278（2009 年）
医療・福祉	2,361（2009 年）
教育・学習支援事業	1,312（2009 年）
合計特殊出生率	1.46 %（2010 年）
高齢化率	24.2 %（2011 年）



# INDEX

04	山梨県と日本マイクロソフト 協働の背景
05	山梨県との地域活性化協働プログラムの概要
06	山梨県との地域活性化協働プログラムのスケジュール
	＜山梨県 NPO 基盤強化プログラム＞
07	概要と成果
08	具体的活動とスケジュール
09	参加者の声
10	総括
	＜山梨県 高齢者向け ICT 活用推進プログラム＞
11	概要と成果
12	具体的活動とスケジュール / 参加者の声
13	総括
	＜山梨県 障害者向け支援プログラム＞
14	概要と成果
15	具体的活動とスケジュール
16	参加者の声
17	総括
	＜山梨県 教育分野人材育成プログラム＞
18	概要と成果
19	具体的活動とスケジュール
20	総括
	＜山梨県 医療機関関係者支援プログラム＞
21	概要と成果
22	具体的活動とスケジュール
23	総括
	＜山梨県 農業従事者支援プログラム＞
24	概要と成果
25	具体的活動とスケジュール
26	参加者の声
27	総括
	＜山梨県 IT ベンチャー支援プログラム＞
28	概要と成果
29	具体的活動とスケジュール
30	総括
31	＜地域活性化協働プログラム 講師陣＞
	＜成果報告＞
32	横内正明知事への成果報告 / 成果報告会
35	＜やまなし絆ネットワーク＞
36	【参考資料】プログラム開始時のプレスリリース

# 山梨県と日本マイクロソフト 協働の背景

●山梨県と日本マイクロソフトは、ICT の利活用促進を通して、山梨県のさらなる発展に向けて連携するため、2011 年 2 月 23 日に甲府市内で、地域活性化協働プログラムの覚書を締結した。

●山梨県と日本マイクロソフトは、地域活性化プログラムのメニューから「NPO 基盤強化プログラム」「高齢者向け ICT 活用推進プログラム」「障害者向け支援プログラム」「教育分野人材育成プログラム」「医療機関関係者支援プログラム」「農業従事者支援プログラム」「IT ベンチャー支援プログラム」の 7 分野を選択。2011 年 2 月から、県内の民間団体や市町村の協力を得て、両者が協働で講座・セミナーを実施することで、人材育成や地域活性化を図ることとした。

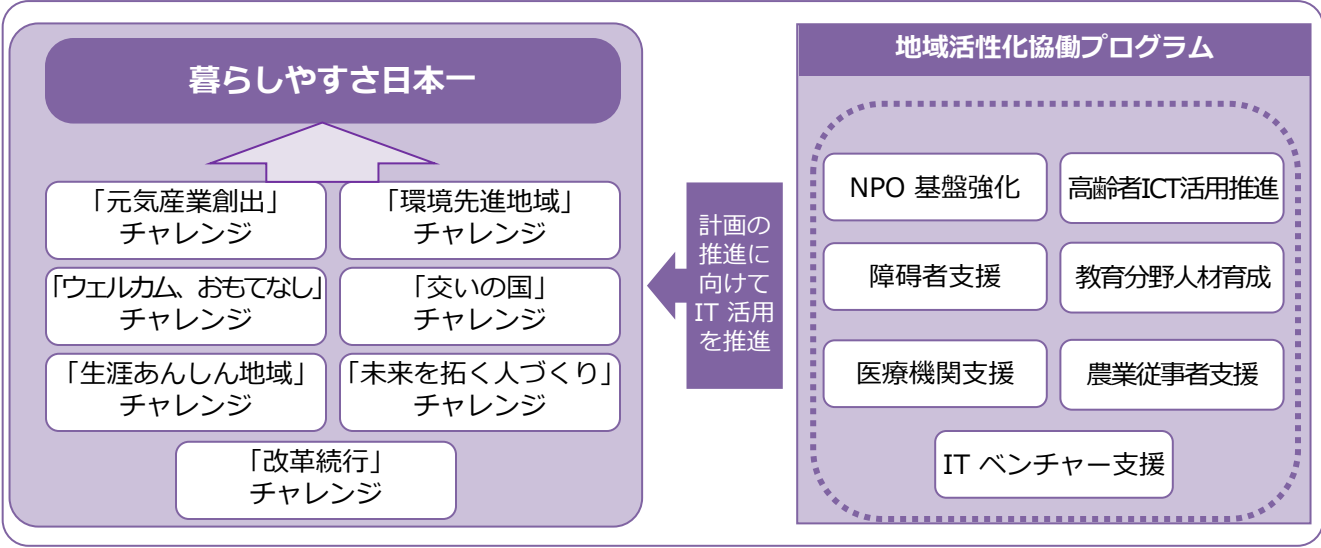
●山梨県では、これまで情報ハイウェイの整備など、高度情報通信ネットワーク社会の到来を見据えた取り組みを進めてきた。今回、このプログラムを活用して、県民

の ICT への理解を深め、暮らしに直結した分野での ICT 利活用推進や、県内情報通信産業の振興につなげていくことを目指している。

●日本マイクロソフトは、今回のプログラムにおける連携を通じて、県民に ICT 利活用を啓発することで地域の人材力を活性化し、世界に向けて情報発信やビジネス展開ができるような地域づくりを目指している。

## ●両者の役割分担

山梨県	企画立案 会場の提供 広報活動
日本マイクロソフト	企画立案 講師の派遣 教材、ソフトウェアの提供



## 覚書締結式

2011 年 2 月 23 日に甲府市内で覚書を締結し、1 年間の協働プログラムがスタート。覚書締結後、横内知事と樋口社長ががっちりと握手を交わしました。



## 山梨県知事 横内正明氏

マイクロソフトは企業市民活動にも取り組んでおられ、地域活性化協働プログラムを 2009 年から実施されています。IT に関わる人材育成を積極的に行っており、本県においてもこのプログラムを実施していただけることは、大変喜ばしいことと感じております。

## 日本マイクロソフト 代表執行役社長 樋口泰行

山梨県は、プログラムの全メニューを包含した形でスタートするはじめてのケースとなります。地域活性化協働プログラムは、自治体のやる気と比例して効果があがる傾向がございます。そういった意味で大変意欲的な山梨県には、高い効果を期待しています。今回、特にこれから ICT の寄与度の高い農業分野、医療分野は弊社の新たな取り組みとして行っていきたいと思っております。一年間、社を挙げて活動を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

# 山梨県との地域活性化協働プログラムの概要

## ● NPO 基盤強化プログラム

より良い地域コミュニティづくりを目指し、NPO が自立的かつ継続的に活動する基盤の強化を図るため、県内の NPO 及び NPO 活動を支援している団体等を対象に、ICT スキルを活用した団体運営のノウハウを習得するための講座及び講師となる人材の育成講座等を開催。

## ● 高齢者向け ICT 活用推進プログラム

より良い地域コミュニティづくりを目指し、高齢者が地域づくりの担い手としてますます元気に活躍できるよう、県内の高齢者及び高齢者の ICT 活用を支援する団体等を対象に、ICT 活用の利便性を周知するイベント及び ICT スキルを習得する講座等を開催。

## ● 障害者向け支援プログラム

障害者が ICT スキルを身につけることにより、社会参加を果たすなど楽しく豊かな生活を実現できるよう、県内で障害者への ICT サポートを行っている個人及び教育関係者を対象に、障害者の ICT スキル習得に対し参考となる講習会等を開催。

## ● 教育分野人材育成プログラム

教育分野における教育の向上を図るため、県内の教職員を対象とした ICT スキル向上のための集合研修及び e ラーニング形式の研修システム等を用いた学習活動並びに生徒を対象とした学習支援等を実施。

## ● 医療機関関係者支援プログラム

医療機関における ICT 利活用の促進を支援するため、県内の医療機関関係者を対象に、ICT スキルを習得する講習会等を開催。

## ● 農業従事者支援プログラム

農業分野における ICT 利活用の促進を支援するため、県内の農業及び農業関連事業従事者を対象に、ICT の活用事例を紹介するセミナー及び ICT スキルを活用する講習会等を開催。

## ● IT ベンチャー支援プログラム

地域産業の活性化を目指し、成長意欲の高い県内の IT ベンチャー企業及び中小 IT 企業を対象に、技術支援やマーケティング支援を実施。

## プログラムと担当部署

### 全体統括

山梨県  
企画県民部情報政策課  
  
日本マイクロソフト  
社長室 企業市民活動推進部

### NPO 基盤強化プログラム

山梨県  
企画県民部県民生活・男女参画課  
山梨県ボランティア協会  
  
日本マイクロソフト 社会貢献部

### 高齢者向け ICT 活用促進プログラム

山梨県  
企画県民部情報政策課  
教育委員会社会教育課  
山梨ことぶき勤学院  
  
日本マイクロソフト 技術統括室

### 障害者向け支援プログラム

山梨県  
企画県民部情報政策課  
福祉保健部障害福祉課  
教育委員会新しい学校づくり推進室  
山梨県障害者福祉協会  
  
日本マイクロソフト 社会貢献部

### 教育分野人材育成プログラム

山梨県  
教育委員会高校教育課  
  
日本マイクロソフト  
公共インダストリー統括本部

### 医療機関関係者支援プログラム

山梨県  
企画県民部情報政策課  
山梨県立病院機構  
  
日本マイクロソフト  
公共インダストリー統括本部

### 農業従事者支援プログラム

山梨県  
企画県民部情報政策課  
農政部農業技術課  
  
日本マイクロソフト  
社長室 企業市民活動推進部

### IT ベンチャー支援プログラム

山梨県  
企画県民部情報産業振興室  
  
日本マイクロソフト  
デベロッパー & プラットフォーム統括本部

# 山梨県との地域活性化協働プログラムのスケジュール

		全体	NPO 基盤強化 プログラム	高齢者向け ICT 活用推進プログラム	障害者向け 支援プログラム	教育分野人材育成 プログラム	医療機関関係者 支援プログラム	農業従事者 支援プログラム	IT ベンチャー 支援プログラム
2011 年	1 月								
	2 月	2月23日 覚書締結式							2月21日 キックオフ ミーティング 2月23日 認定式
	3 月								
	4 月					4月21日 県立学校ネットワーク担当者 および PCリーダー研修会			4月19-23日 第8回 マイクロソフト IT ベンチャー 支援プログラム US 研修ツアー
	5 月				5月23日 「学習につまずき のある子どもへの ICTを活用した学 習支援」セミナー	5月1日 ICTスキルアップ プログラム E ラーニング 提供開始	5月30日 医療機関関係者向け ICT活用講習会 (Office 初級編)		5月23日 Microsoft Developer Forum 2011
	6 月					6月16日 学力向上と ICT活用			6月25日 ベンチャーで 活かせる 最新テクノロジー セミナー
	7 月			7月12日 初心者向け パソコン 活用講習会	7月12日 教育関係者向け ソフト活用 研修会 (第1回)				
	8 月		8月6日 NPO向けICT リーダー養成講座 8月21日 NPO向けICT リーダー養成講座			8月8日 情報に関する 教育課程についての研修			
	9 月				9月4日 障害者 在宅就労セミナー		9月20日 医療機関関係者向け ICT活用講習会 (Excel 中級編)		
	10 月								10月28日 Windows Phone 紹介・開発 セミナー
	11 月			11月21日 パソコン講習会 (第1回、第2回) 11月28日 パソコン講習会 (第3回、第4回)				11月10日 第1回講座 「ガイダンス」 11月24日 第2回講座 「ケースディスカッ ション」	
	12 月				12月8日 教育関係者向け ソフト活用 研修会 (第2回) 12月18日 障害者パソコン ボランティア 向け研修 (第1回) 1月17日 障害者パソコン ボランティア 向け研修 (第2回) 1月26日 教育関係者向け ソフト活用 講習会 (第3回)			12月15日 第3回講座 「ケースディスカッ ション」	12月3日 Windows Phone アプリ開発講座
2012 年	1 月							1月13日 第4回講座 「事業計画作成 演習」	
	2 月						2月21日 医療機関関係者向け ICT活用講習会 (PowerPoint 中級編/クラウドサービス)	2月2日 第5回講座 「事業計画発表」 「ECサイト立ち上 げミニ講座」	
	3 月	3月13日 最終報告会 開催							



# 山梨県 NPO 基盤強化プログラム

## 概要と成果

山梨県は「暮らしやすさ日本一の県づくり」を基本理念に掲げ、産業の振興や環境の保全などさまざまな取り組みを進めている。しかし、県や市町村の活動だけでは、きめ細かな住民サービスを実現することは難しいとの考えから「新しい公共」の担い手となる NPO 等と協働していく方針を打ち出している。こうした背景を受け、山梨県と日本マイクロソフトは「NPO 基盤強化プログラム」を活用して地域 NPO の運営基盤を強化するため、中間支援組織や ICT 支援 NPO を対象とする「ICT リーダー養成講座」を開催した。この講座で ICT スキルを身に付けた NPO スタッフが、各地域に戻って活躍することにより、県内全域の NPO 活動を活性化することを目指している。

### 第1回 NPO 向け ICT リーダー養成講座



### 第2回 NPO 向け ICT リーダー養成講座



## 活動概要

- NPO の運営に役立つ ICT の活用方法を地域 NPO に広めていくことにより、NPO の運営基盤強化を目指した。養成された ICT リーダーは、この講座で身に付けた ICT を活用し、自ら講師や助言役となり NPO 運営ノウハウを地域の NPO へ普及する役割を担うこととした。
- 中間支援組織や ICT 支援 NPO などのスタッフを対象に「ICT リーダー養成講座」として全 10 回の講座を開催。その第 1 回と第 2 回の講座を、今回のプログラムを活用して実施した。
- オプション講座として「NPO と多様な主体との協働に向けた SNS やクラウドサービスの使いこなし術」、「目指す ICT リーダー像を考える大作戦～山梨県の NPO に必要な支援者とは～」を開催。意見交換会では、山梨の NPO が抱える課題について、各 NPO が自らの体験を基に討論を行った。

## 協力体制と生まれた成果

- “誰もが居場所のある社会を” という山梨県が主導する「新しい公共」の事業理念に基づき、山梨県企画県民部 と山梨県ボランティア協会、カルク、日本マイクロソフト、日本 NPO センターなどが、それぞれの強みを生かし、講座の企画から運営、実施まで密接な連携を図りながら行った。
- ナレッジネットワークの森戸裕一氏を講師に迎え、山梨県の実情に即した講義を展開。参加者の深い共感を得るとともに、刺激を与えることができた。
- 第 1 回セミナー開催後、NPO 支援団体をつなぐ Facebook ページを開設。セミナーに参加した約 20 名が登録し、グループ間で親密な意見交換が行われるようになった。また、Windows Live や SkyDrive を利用したファイル共有なども行われるようになり、NPO 同士の距離を縮めることができた。
- ICT の利活用が NPO の基盤強化に欠かせないことを、参加された ICT リーダーの候補者に伝え、彼らのスキルアップを図ることができた。

## プログラムの持続可能性

- 第 1 回、第 2 回のセミナーを受け、2011 年 10 月から山梨県 県民生活・男女参画課が所管課となり「フォローアップ講座（全 8 回）」を実施。「ICT リーダー養成講座」の修了者は、この「フォローアップ講座」を連続して受講することで「ICT リーダー人材バンク」に登録される仕組みを構築した。山梨県では、このバンクに登録される ICT リーダーを、支援を必要とする各地域の NPO 等に派遣することとしている。
- セミナーに参加した NPO スタッフの多くが、Windows Live や Facebook などのクラウド サービスを利用したコミュニケーションを活発に行うようになり、距離を超えた連携が容易に行えるようになった。今後、地域の小さな NPO まで連携の輪を拡大させることができれば、各地域が抱える社会的課題の把握や支援の具体策づくりに役立てられる可能性が高い。
- 講座を通じて、多くの NPO スタッフが顔見知りになり、情報交換ができる環境が整った。横の関係が広がることにより、自治体の旗振りがなくても、各団体がお互いの連携によって問題の共有や解決を行える土台を構築できた。

# 山梨県 NPO 基盤強化プログラム

## 具体的活動とスケジュール

### ● 第1回 NPO 向け ICT リーダー養成講座

NPO の運営基盤強化を図るため、中間組織や ICT 支援 NPO などのスタッフ等を対象に ICT リーダーの養成講座を開催した。

#### 役割分担

山梨県 … 企画、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 企画、講師派遣、教材提供等

<主体：県、日本マイクロソフト>

#### 内容

- ・第1講「今すぐ実践できる PR 文書の作り方」  
NPO にとって欠かせない広報活動を、より効率的かつ効果的に行うためにポイントを絞った実践ノウハウを学習（Word 活用）
- ・第2講「共感と呼ぶプレゼンテーション講座」  
相手に価値を伝えるプレゼンテーション技術を学習（PowerPoint 活用）
- ・オプション講座「NPO と多様な主体との協働に向けた SNS やクラウドサービスの使いこなし術」

場所	開催日	参加者
甲府市	8/6	44名（第1・2講）
甲府市	8/6	24名（オプション講座）

### ● 第2回 NPO 向け ICT リーダー養成講座

NPO の運営基盤強化を図るため、中間組織や ICT 支援 NPO などのスタッフ等を対象に ICT リーダーの養成講座を開催した。

#### 役割分担

山梨県 … 企画、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 企画、講師派遣、教材提供等

<主体：県、日本マイクロソフト>

#### 内容

- ・第3講「誰でもうまく進められる会議運営ノウハウ講座」  
短時間で目標を適切に達成する会議運営のノウハウを学習
- ・第4講「誰にでも任せられるイベント運営段取り講座」  
事前準備から懇親会終了まで、効率的に段取りを行い、イベントを成功させるための、イベント運営実践ノウハウを学習
- ・オプション講座「目指す ICT リーダー像を考える作戦会議～山梨県の NPO に必要な支援者とは～」

場所	開催日	参加者
甲府市	8/21	40名（第3・4講）
甲府市	8/21	14名（オプション講座）



# 山梨県 NPO 基盤強化プログラム

## 参加者の声

### 参加者の声

「『ICT は NPO を支える応援団』そんな思いを強く持つことができた。ソーシャルメディアやクラウドサービスの登場により、共感の繋がりから共有、協働へと活動を広げるためのまさに大きな戦力になったと言える。またウェブサイトや動画作成をきっかけに、誰に何を伝えたいのかという原点に立ち戻り、組織の在り方、活動内容を見直すそんな重要なきっかけ作りを ICT が提供できることにも気づかされた。これからも ICT を活用した人づくり、場づくりを進め、山梨という地域の絆を強め、日本全国との絆へ広げていきたいと思っている」（バーチャル工房やまなし 副理事長 / 株式会社カルク ソリューション事業部情報教育担当 課長 田崎輝美氏）



「『山梨まんまくらぶ』』はがん医療を中心とした医療環境のさらなる向上をめざしドンキホーテのような活動をしている。団体は小さいのに目指すところはとてつもなく大きい。悩みは自己満足的な活動となりがちなこと。しかし『IT』に『C』が入った『ICT』の利用により、資金・人材の乏しい団体でもより充実した情報の発信・収集ができる。そして ICT を知れば知るほどその利用は奥が深い。どうせ使うなら『C』を存分に活用したい！今回の参加が『C』の重要性に目覚め今後への再スタートになったことは間違いない」（山梨まんまくらぶ 代表 若尾直子氏）



「会社を早期退職しコンサルタントになる勉強をしている時に『NPO 向け ICT リーダー養成講座』へのお誘いを受けた。その後『NPO 向け ICT 指導者養成講座』で具体的な手法などを学ぶ中で強く感じたのは、結局人とのコミュニケーションが基本だということだった。SkyDrive で集約した情報を共有し、Facebook などで議論を交わせるのもすべて人とのつながりがあればこそ。私のお手伝いはまだ 始めたばかりだが、人との絆を大切に NPO 活動を初めとする地域の活性化に少しでもお役に立てればと考えている」（コンサルティングオフィス・プラスワン 代表 一瀬良之氏）



### （アンケートから）

#### ●第1講「今すぐ実践できる PR 文書の作り方」

「ターゲットを絞ることの大切さに気付かされた。自分たちの行動を PR してゆく手法が良く理解できました」  
「現在作成しているチラシやニュース リリースに、すぐに対応できそうな点があったので、早速試してみたいと思います」  
「当初パソコンの技術が必要かと思い不安でしたが、イベントチラシの作り方等の資料により、学習する方法で安心しました」  
「ICT 活用にかぎらず、NPO の経営スキル向上に役立つと感じました」

#### ●第2講「共感を呼ぶプレゼンテーション講座」

「プレゼンテーションも戦術を考えながらすることが大事であるなど、大変勉強になりました」  
「相手に共感を持ってもらう手法を習得できるよう、会議や打ち合わせのときにも実践していきたいです」  
「細かい部分での配慮、気遣いがとても必要だと感じた」  
「ICT なしの NPO 活動は不十分であり、意識を変えていくためのリーダーが大切だと思う」

#### ●第3講「誰でもうまく進められる会議運営ノウハウ講座」

「ICT 活用の過渡期である今こそ、会議の仕方も変えなければならぬと痛感した」  
「系統立てて考えること、時間をきっちり区切ること、下準備の重要性（シートの活用など）を知ることができた」  
「マニュアル化する重要性がわかった。アイデアが出ないのは準備不足という言葉が印象的だった」  
「会議の効率を上げ、目的を達成するヒントをたくさんいただきました」

#### ●第4講「誰にでも任せられるイベント運営段取り講座」

「イベントが目的ではなく、NPO の目的を果たすためにイベントをしている。そのためにマニュアル化、事後のお礼、収支の結果検討が必須だと痛感した」  
「イベントでの人材育成を普通の考え方だと思い込んでいたので、それを混同しないという意見は目からウロコでした」  
「協賛金や会費の徴収までがイベントだという考えを伺い、改めて NPO の関わりを考えさせられた」  
「web サイトへの掲載の速さ等、改善の必要があると痛感した」

# 山梨県 NPO 基盤強化プログラム

## 総括

### 県担当者のコメント

**山梨県 企画県民部県民生活・男女参画課  
ボランティア・NPO担当 課長補佐 城野仁志氏**

おかげさまで、NPO 基盤強化プログラム「NPO 向け ICT リーダー養成講座」に御参加いただいた県内の NPO 関係者 40 名余の多くが、その後の新しい公共支援基金事業にも積極的に御参画いただき、そこから本県の新たな NPO 向け ICT 支援ネットワークの基盤を立ち上げることができたと感じています。様々な分野の専門家や NPO リーダー等が Facebook などのソーシャルメディア等を活用して縦横に結びつき、NPO 支援や地域課題解決等に協力しあう関係性が構築されつつあります。この取組が全県的に発展・充実するよう、今後とも支援していきたいと思ひます。



### 協力団体のコメント

**特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会 事務局次長 和田豊氏**

山梨県内の NPO における ICT 活用は、全体的には未だ十分に活用されていない状況です。NPO の関係者が独学で身に付けた知識や技術の範囲内で、「取り組みたいが、現状では出来ない」ことが多く存在しています。今回の地域活性化協働プログラムの「NPO 向け ICT リーダー養成講座」によって、ICT 分野の専門的な技術や知識をもつプロボノ人材が受講され、NPO 支援の必要性和その具体的な手法について学習していただきました。今後、当会といたしましては、講座を受講された ICT リーダーの皆さんの登録や、NPO への派遣事業など、NPO 支援に取り組んで参りたいと思ひます。



### 協力団体のコメント

**日本NPOセンター 情報部門 吉田建治氏**

今回のプログラムを実施する以前から、山梨県では「新しい公共」支援事業を展開するための具体的なビジョンが描かれており、その事業と関連させることで相乗効果を出すことができました。今回のプログラムを通じて、ICT は単なる事務効率化の手段ではなく、人と人をつなぐコミュニケーション ツールとして有効であることを知っていただけたこと、そして多くの方が実際にクラウド サービスを活用した連携を実践できるようになったことは、今後につながる大きな成果ではないかと思ひます。



### 日本マイクロソフト担当者のコメント

**日本マイクロソフト株式会社 法務・政策企画統括本部  
政策企画本部 渉外・社会貢献担当課長 龍治玲奈氏**

受講された多くの方々が、Windows Live や Facebook を通じて地元にいながら情報共有や意見交換できるようになったことが、プログラムの成果を広げることにつながったと思ひています。今回のプログラムで協働いただいた山梨県の方々や NPO の関係者の方々が、とても意欲的に活動に取り組まれている姿が印象的で、私自身も良い刺激を受けることができました。関係者のみなさまにあらためて感謝いたします。



# 山梨県 高齢者向け ICT 活用推進プログラム

## 概要と成果

山梨県の高齢化率は 2011 年 4 月 1 日時点で全国平均を 1.0 ポイント上回る 24.2 % となっており、全国より高齢化が進んだ状態にある。地域づくりを担う貴重な人材である高齢者が、ICT スキルを習得し、ますます元気に、地域で活躍していただけるよう、ICT を活用するきっかけ作りとして、山梨県と日本マイクロソフトは「高齢者向け ICT 活用推進プログラム」を実施。プログラムでは、シニアの方々が ICT を活用して趣味やレジャー、地域活動に取り組めるよう、パソコンの楽しさや利便性を伝えられる講座を開催した。

### 初心者向けセミナー



らくらくパソコン体験コーナー

### パソコン講習会



## 活動概要

- シニアの方々が ICT を活用し、趣味やレジャー、地域活動を通じてますます元気に活躍していただけるよう、パソコンを使ったお絵かき、デジタル写真の編集、ムービー作成など、実生活に役立つ ICT の楽しさ・便利さを伝える講座を開催した。
- 7月に、ICT の可能性を多くのシニアに理解してもらうためパソコン初心者向けセミナー「デジタル文明開化を楽しむ処世術～パソコンの基本的な使い方を学びたい初心者の方へ～」を開催。ことぶき勤学院生および県内在住の一般参加者 40 名が受講した。
- 11 月には実践編として、2 日間にわたり「パソコン講習会」を開催。デジタル写真の加工、ムービー編集、Word でのお絵かきを、実際に 1 人 1 台のパソコンを操作しながら体験した。

## 協力体制と生まれた成果

- （社）ICT 能力開発協会の青山司理事を講師として招き、ICT の可能性を多くのシニアに理解してもらうためのセミナーを開催、パソコン初心者の興味を喚起した。
- 7 月 12 日のセミナーでは受講者の 84%、11 月 21、28 日のパソコン講習会では受講者の 100% が「内容に満足・まあまあ満足」と回答するなど、いずれも参加者の好評を得た。
- 多くの受講者から今後もパソコン講習会を開催してほしいとの声をいただいた。
- 甲府市内だけではなく、県内各地からシニアの方々が参加。パソコン講習会を通じて、普段交流のない地域のシニア同士の新たなつながりが生まれた。
- 山梨ことぶき勤学院の協力により、本講習会を選択講座に指定いただき、勤学院生にも受講いただいた。

## プログラムの持続可能性

- 多くの受講者が今後もイベントの継続を希望するとの声があがった。山梨県としては、このようなシニアのニーズを把握することができたことが大きな収穫であり、今後のシニア向け施策の指標になると期待できる。
- デジタル写真やムービーの編集方法を学んだことが、シニアの趣味や生きがいを広げる結果となり、地域活性化につながる事が期待できる。
- 多くのシニアは、パソコンの操作方法やメールの使い方など実務的な内容だけではなく、お絵かきやムービー編集のような楽しめるパソコン講座に関心を持っていることがわかった。こうしたニーズの把握が、今後のパソコン講座のコンテンツづくりに役立つと考えられる。

# 山梨県 高齢者向け ICT 活用推進プログラム

## 具体的活動とスケジュール

### ● 初心者向けセミナー

シニアのパソコン初心者の方々に「パソコンでどんなことができるのか」を学んでいただくための講習会を開催した。

#### 役割分担

山梨県 … 企画、広報、会場準備、講習会運営等

日本マイクロソフト … 講師派遣 (青山司氏)、らくらくパソコン貸与、教材提供

<主体：県、日本マイクロソフト>

場所	開催日	参加者
甲府市	7/12	40 名

### ● パソコン講習会

趣味や生活、地域活動に役立つ ICT の利便性を周知する講習会を開催した。

#### 役割分担

山梨県 … 企画、広報、会場・パソコン準備、講習会運営等

日本マイクロソフト … 講師派遣、教材提供

#### 内容

第 1 回 「写真編集・動画作成をやってみよう」

第 2 回 「Word でお絵かきをやってみよう」

第 3 回 「写真編集・動画作成をやってみよう」

第 4 回 「Word でお絵かきをやってみよう」

<主体：県、日本マイクロソフト>

	開催日	参加者
第 1 回	11/21	20 名
第 2 回	11/21	19 名
第 3 回	11/28	13 名
第 4 回	11/28	10 名

## 参加者の声

### 参加者の声

#### (アンケートから)

##### ● 「写真編集・動画作成をやってみよう」

「パノラマ写真、合成写真、ムービーなどどれもびっくりの講座でした」

「ムービーを作れた時はうれしかったです」

「ムービーをもっと勉強して、遠くにいる子どもたちに送りたい」

「今日のご指導を基に続けたいと思います」

「全てが大変良かったです」

「色々と進歩しているのがわかり早く勉強すれば良かったが機会がなかった」

##### ● 「Word でお絵かきをやってみよう」

「内容は楽しいが難しい」

「指導が丁寧で良く分かりました。ありがとうございました」

「時間がなくつききりで指導いただき感謝です。面白く早く学べた」

「絵を描くのが苦手でも、絵を描くことができうれしかったです」

「とても楽しかったです。でもちょっと難しかったです」

「図形の組み合わせでいろいろな絵が描けるということに驚きました」

「パソコンのお絵描きにはまりそうです」



# 山梨県 高齢者向け ICT 活用推進プログラム

## 総括

### 県担当者のコメント

**山梨県企画県民部 情報政策課 情報企画担当 主査 入倉由紀子氏**

ブロードバンド整備、携帯電話や携帯端末の普及など情報通信基盤の整備が着実に進み、今後は ICT 利活用による地域活性化の推進が求められています。地域住民の ICT 利活用スキルの底上げを図るため、ICT に馴染みの薄い高齢者向けに ICT を活用するきっかけ作りとし、今回、社会教育課と協力し、山梨ことぶき勤学院を中心に県内の高齢者の方々を対象に講座を開催しました。受講者には、パソコン初心者の方も多く、熱心な姿に関心の深さを感じました。引き続き、地域住民の ICT 利活用スキル向上に向け取り組んで参りたいと思います。



### 県担当者のコメント

**山梨県教育委員会 社会教育課 成人・家庭教育担当 主幹 小笠原孝二氏**

山梨ことぶき勤学院は、高齢者の学習ニーズ・生きがいづくり・地域づくりの指導者の養成を目的として運営しています。これまでも「情報化社会を生きる」というテーマの講座を設けていましたが、今回の日本マイクロソフトとの協働事業では、新たに公開講座を実施し、高齢者向けにパソコン活用のガイダンスから実技講習まで行っており、講習会に参加した方々の感想も大変好評でした。これを機会に今後とも一層高齢者の方々がパソコンを活用し、地域での活動の幅も一層広がっていただけることと思います。



### 日本マイクロソフト担当者のコメント

**日本マイクロソフト株式会社 技術統括室  
マネージャー アクティブシニアプログラム担当 大島友子氏**

パソコンを初めて触る方もいらっしゃり、最初は不安でしたが、参加後のアンケートを見ると、みなさん満足されていたようなので安心しました。参加されたシニアのみなさんが、とても楽しそうに積極的にパソコンを操作されていた姿が印象的でした。



# 山梨県 障害者向け支援プログラム

## 概要と成果

山梨県では、障害の有無にかかわらず、だれもが等しく基本的人権を享有する個人として尊重されるものであるという理念を掲げ、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現を目指している。その実現に向け、障害者の就労支援や障害者福祉施設の整備を推進、さらに「やまなし特別支援教育推進プラン」に基づき、障害のある子どもたちの自立や社会参加に向けた取り組み、一人ひとりの教育ニーズに合わせた適切な指導を行ってきた。こうした取り組みをより強固にするため、山梨県と日本マイクロソフトは「障害者向け支援プログラム」を通じて、ICTを活用した学習支援、パソコンボランティアのスキルアップ、障害者の在宅就労支援などを実施した。

### 教職員対象のセミナー、研修会



### パソコンボランティア向け講座



### 障害者在宅就労セミナー



## 活動概要

●小中学校、特別支援学校の教育関係者を対象に、PowerPointやPowerPointのアドオンソフトMouse Mischiefを使った教材作成、DAISY※1などのICTを活用した学習支援のセミナー、研修会を実施した。

●セミナーや研修会に参加した小中学校、特別支援学校の教職員による、ICTを活用した教育活動の実績報告や意見交換を実施した。

●パソコンボランティアとして活動している方および、今後障害者へのパソコンボランティアを養成する方を対象にスキルアップのための講座を実施。Windows 7やOffice 2010、無料で使えるクラウドサービスなどの最新のテクノロジーや、WordでDAISY図書を作成する方法などを、実際にパソコンを操作をしながら学んだ。

●障害者の在宅就労を支援するNPOや障害当事者に対し、クラウドの活用など先進のICT活用方法などを紹介した。

## 協力体制と生まれた成果

●山梨県教育委員会の全面的な協力により、教職員向けセミナーと研修会を公式研修会として開催。このことにより、特別支援学校の教職員はもちろん、小中学校の一般クラスの教職員まで多くの参加者が集まり、先進的な障害児のICTによる支援の手法や事例を学ぶことができた。

●プログラム実施前から組織されていた障害者向けパソコンボランティアを対象に、スキルアップが行えた。普段なかなか学ぶことができない最新のテクノロジーを実技形式で学べて、ボランティア活動に生かすことができた。

●ICTは、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由だけではなく、発達障害や学習障害など、さまざまな学習における困難がある児童・生徒にとって効果的な学習ツールになることを知る機会となった。

●NPO法人バーチャル工房やまなしと連携し、ICTを活用した障害者の在宅就労の機会拡大について学んだ。

## プログラムの持続可能性

●小中学校の一般クラスの教職員も、発達障害や学習障害のある児童・生徒への対処法やICTを活用した支援方法を学ぶ機会となり、今後の授業に生かされることが期待できる。

●セミナーや研修会で学んだ内容を実際に授業に活用し、教職員同士の実績報告や意見交換を行えたことで、身近なヒントを得ることもでき、今後の教職員同士の交流・情報交換も期待できる。

●講座で作成した障害児用の支援教材をマイクロソフト主催の「教職員ICT活用実践コンテスト」に応募。こうした活動が多くの教職員のモチベーション向上につながることに期待したい。

●新しいテクノロジーやICTの活用方法を学んだことでパソコンボランティアのモチベーションがあがり、今後も自ら学習を続けボランティアを行っていく意欲が生まれた。

●ICTの発達により、クラウドサービスや便利なソフトウェアが出現し、障害者の在宅就労に大いに活用できる可能性が示された。

(※1) DAISY：紙の印刷物を読むことが困難な人々のためのデジタル録音図書の国際標準規格

(※2) Tobi：DAISY3図書に、声を録音したり、音声の編集を行えるソフト



# 山梨県 障害者向け支援プログラム

## 具体的活動とスケジュール

### ● 障害者教育関係者および小中学校の教職員を対象とする ICT 活用セミナー

障害者への ICT サポートを行っている教育関係者を対象としたセミナーを開催した。

#### 役割分担

山梨県教育委員会 … 企画、広報、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣、教材提供

	開催日	参加者
セミナー	5/23	32 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

#### 講座タイトル

「学習につまずきのある子どもへの ICT を活用した学習支援」PowerPoint の活用等による学習支援

### ● 障害者教育関係者および小中学校の教職員を対象とする ICT 活用研修会

障害者への ICT サポートを行っている教育関係者を対象としたソフト活用研修会を開催した。

#### 役割分担

山梨県教育委員会 … 企画、広報、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣、教材提供

	開催日	参加者
第 1 回	7/12	16 名
第 2 回	12/8	10 名
第 3 回	1/26	13 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

#### 講座タイトル

第 1 回 「1台のパソコンをみんなで同時に使える！ Mouse Mischief、PowerPoint 活用編」  
第 2 回 「ワード文書が話し出すよ！ DAISY 活用編」  
第 3 回 「授業で使ってみたよ！ 情報交換会」

### ● パソコンボランティア向け講座

障害者にパソコンの操作方法を教えるパソコン ボランティアを育成する研修講座を開催した。

#### 役割分担

山梨県 … 企画、広報、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣、教材提供

	開催日	参加者
第 1 回	12/18	17 名
第 2 回	1/17	13 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

#### 講座タイトル

第 1 回 「アクセシブルな情報システム マルチメディア DAISY（デージー）講座」  
第 2 回 「Windows 7 の便利な機能、ネットで使える便利なサービス講座」

### ● 障害者在宅就労セミナー

ICT を活用した障害者の在宅就労に関する現状や課題、取り組みの事例などを学ぶセミナーを開催した。

	開催日	参加者
セミナー	9/4	50 名

<主催：NPO法人バーチャル工房やまなし>  
<後援：県、協力：日本マイクロソフト>

# 山梨県 障害者向け支援プログラム

## 参加者の声

### 参加者の声

「講座で学んだ DAISY は、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人のために音声で読み上げてくれる図書を作るソフトである。DAISY によるデジタル録音図書を活用すれば、障害者だけでなく高齢者にとっても楽しみが増えるので、いろいろ試してみたいと思う。OneNote は、テキストや画像、手書き文字、音声や動画などを記録できるソフトである。私は友だちのブログに掲載されている韓国料理のレシピを貼りつけてみた。編集も簡単で管理もしやすい。これらのソフトを地域のために生かしていきたい」（三村麻理子氏）



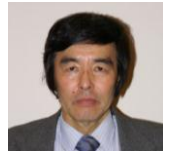
「一回目の受講を聞いて、視覚障がい者はもちろん 年取って目が悪くなった方でも、便利な、音声合成ソフトは便利なものです。Wordで音声合成の文書が作れるのは、便利だと思いました。ところで、音声認識ソフトがもっと使いやすくなれば良いなと思います。いまのソフトは、こちらの言う言葉が違う言葉で、出て来てしまうので、障がい者は言葉がはっきりしない人が多いのです。視覚障がい者の人はもっと困る人が多いと思います、高齢のかたでも手が使えなくてもパソコンを使ってメールや日記をつけたいけれどと言う人にもっと使いかっのの良いソフトになれば良いなとおもいます」（大柴洋子氏）



「全体的に障害者の方々にに対して細部までかわられる知識を持てるようになった研修会だったと思います。私たちがかわる障害者の方々は、障害種別にかかわらず細部にわたって個々な対応を求められます。今回の学習では私たちでもつまずきやすいパソコンの使い方をご指導いただき、今後の障害者の方々にに対するパソコン教育の新たな展開について学べたことに感謝いたします」（廣戸真幌氏）



「私ども NPO 法人バーチャル工房やまなし主催の『障害者在宅就労セミナー』にご協力いただき、『ICT の最新技術が変える在宅就労環境』というテーマで大島友子様にご講演いただきました。昨今注目を集めているクラウドサービスやスマートフォンなどの普及により、誰でもどこでもいつでも情報にアクセスでき、共同作業、コミュニケーションの道具としての活用がここまで進んできたことに驚かされました。また同時に参加者全員が障害を持つ者の就労への期待がより高まり、やる気と勇気をいただくことができました」（バーチャル工房やまなし 理事長 小野智弘氏：障害者在宅就労セミナー）



### (アンケートから)

#### ●「学習につまずきのある子どもへの ICT を活用した学習支援」セミナー

「目で見て分かりやすく、音声と共に達成感を味わえるような教材が、特別支援教育に必須だと感じました」  
「PowerPoint は、すぐに有効な教材として使えそうなので、学校の先生たちに活用を広めたい」

#### ●ソフト活用研修会

「研修で学んだ PowerPoint や Mouse Mischief, DAISY 等の情報を校内に発信し、活用される機会を増やしていきたい」  
「個別の学習だけでなく、Mouse Mischief を集団の授業で活用してみたい」  
「漢字障害のある児童への活用を考えています。学校へ戻って、実際に子供たちに活用していこうと思います」

#### ●パソコン ボランティア向け講座

「DAISY は視覚障害者だけに有効なものだと思っていたので、他の障害の方にも有効だと知ることができて良かった」  
「Word で DAISY 図書が作れること、それも比較的簡単にできることがわかりました」  
「障害をお持ちの方のサポートだけでなく、パソコン ボランティア等支援者同士の情報共有にも ICT を活かせると思った」

#### ●障害者在宅就労セミナー

「クラウドにより、自ら設備投資せず、グループで連携して在宅就労ができる時代になっていることがわかった」

### 小学校の特別支援学級の教職員と授業を受けた児童の感想

#### ●教職員の感想

「子どもたちはやり方を覚えると、教師の手助けなしで課題を進めることができた」  
「間違えたとき、何度も同じ問題を繰り返すことで、正しい理解ができるようです」

#### ●児童の感想

「パソコンをやって、最初は簡単だったけど、少しむずかしかったです」  
「絵がたくさんあってわかりやすかった」

# 山梨県 障害者向け支援プログラム

## 総括

### 県担当者のコメント

**山梨県企画県民部 情報政策課 情報企画担当 主査 入倉由紀子氏**

ICT は障害者の社会参加のツールでもあることから、利活用機会や活用能力に格差が生じることのないよう支援していく必要があると思います。今回、障害福祉課、障害者福祉協会と協力し、日頃から障害者をサポートしているパソコンボランティアの方々を中心に、DAYSY や Windows の便利な機能、クラウドサービス等について講座を開催しました。パソコンボランティアの皆様の益々のご活躍を期待しております。



### 県担当者のコメント

**山梨県福祉保健部 障害福祉課 地域生活支援担当 主査 白須弘昭氏**

山梨県では、障害者 IT サポートセンターを設置して、障害のある人の情報機器活用能力の向上のため、障害者パソコン教室やパソコンボランティアの養成・派遣事業等を実施しています。今回、日本マイクロソフトとの協働によりパソコンボランティア向け講座を実施し、パソコンボランティアの方々が、なかなか接する機会の少ない最新の技術情報を学ぶことができたことは、とても有意義なことでした。今後とも、ICT の活用により、障害のある人の特性に応じたコミュニケーション支援体制の充実を図っていききたいと思います。



### 県担当者のコメント

**山梨県教育委員会 新しい学校づくり推進室  
特別支援教育担当 副主幹・指導主事 小林勝氏**

特別支援教育の実施に伴い、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の障害が多様化する中、今回の日本マイクロソフト社との協働事業による『学習につまずきのある児童生徒の ICT を活用した学習支援』の実施は、小中学校及び特別支援学校の担当教員にとって大いに有意義であった。今回の研修を通して得られた知識や技能の活用により、今後の児童生徒のニーズに応じた教材作成や指導法の改善につながることを期待できる。今後もこのような ICT の活用に関する研修会を続けていければありがたいと考える。



### 協力団体のコメント

**社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会 ITサポートセンター担当 早川佑騎氏**

このプログラムを受講するまでは、DAISY は視覚障害者向けの電子図書という固定されたイメージしかなかった。しかし文字、画像、音声をシンクロすることで、障害によってページ上の文字や画像が見えない人、理解が難しい人への情報アクセスが容易になるという考えに変わった。今回の講座を通じて、私たちが普段何気なく使用しているハード、様々なソフトが、アイデアや工夫一つで誰もが参加（アクセス）できる多様性の確保になるという可能性をみて、今後はこうした情報を障害を持った方たちと共有し、フィードバックしていきたいと考える。



### 日本マイクロソフト担当者のコメント

**日本マイクロソフト株式会社 技術統括室  
マネージャー アクセシビリティ担当 大島友子氏**

山梨県では障害のある方を支援するNPOなどの活動が活発で、ICT の活用についても先進的な取り組みを実践していらっしゃいますが、今回のプログラムでさらに多くの方に新しい技術、活用法を知っていただくことができ、今後の活動が一層楽しみです。





# 山梨県 教育分野人材育成プログラム

## 概要と成果

山梨県では「未来を拓く人づくり」チャレンジという目標を掲げ、県の将来を担う知・徳・体のバランスのとれた有意な人材の輩出と、子供たちの確かな学力向上や豊かな心の育成に取り組んでいる。また、2009 年から 5 か年計画で「やまなしの教育振興プラン」を策定。この計画では、「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」という基本理念の下、さまざまな施策が推進されている。山梨県と日本マイクロソフトは、「世界に通じる人づくり」の一環として ICT を教育に生かせる教職員が必要との認識から、「教育分野人材育成プログラム」に取り組むこととなった。

### 十年経験者研修



### 教育課程研究集会 情報部会



## 活動概要

- 世界の教育科学者や UNESCO、OECDなどの国際教育機関が連携して、21 世紀の国際社会で必要とされる、子どもたちの身に付けるべき能力として「21世紀型スキル」を規定している。21 世紀型スキルでは、コミュニケーションやコラボレーションの能力や、課題発見解決力などとともに、それらのスキルを支える ICT 活用力や情報リテラシーの育成が推奨されている。こうした背景を念頭に、今回のプログラムを通じて学校教育における、21 世紀型スキル育成の重要性を学んだ。

- ICT を利活用したいと考える教職員を対象とする e ラーニングシステム「ICT スキルアップオンライン」を県内各校に紹介し、教職員の登録を促した。

- 県内教職員の十年経験者研修において「学力向上と ICT 活用」と題した講演を実施。

- 県内各高等学校の教職員を対象とする「教育課程研究集会 情報部会」において、生徒に情報リテラシーや情報セキュリティを身に付けさせるための勉強会を実施。

## 協力体制と生まれた成果

- 山梨県高校教育課が主催した「平成23年度十年経験者研修必修4」の一環として日本マイクロソフトが講師を派遣し研修を実施。

- 生徒の情報リテラシーやセキュリティ意識を向上させることを目的として、NPO 法人 イーパーツ常務理事の会田和弘氏を招いて講演を実施。

- 単純に、ICT を利活用した授業をすることが目的ではなく、国際的な教育の流れである 21 世紀型スキルを身に付けさせることが第一義であり、そのために ICT が必要であるという気付きを教職員に与えることができた。

- 近年、深刻な被害が頻発しているセキュリティに関する最新の情報や技術を、教職員に伝えることができた。ここで得た知識を各教職員が教育現場で生かすことが、生徒たちの情報リテラシー向上につながると期待できる。

## プログラムの持続可能性

- 今回のプログラムは、県内の高等学校の教職員を対象としたものだったが、今後は小中学校にまで対象範囲を拡大し、教育の連続性を重視した活動へ発展することが期待できる。

- マイクロソフトが運営する教職員向けグローバル コミュニティ サイト「Partners in Learning (PiL) ネットワーク」を活用し、教職員が世界中の教育関係者と情報交換や交流ができる場を紹介。こうしたコミュニティを活用して、教員同士の新たな交流や刺激しあう関係が生まれることが期待される。

- 研修を受けた多くの教職員が、これからの教育現場で 21 世紀型スキルを意識した取り組みや、ICT を取り入れた授業の必要性を認識したと回答。今後の教育活動において、単純にパソコンを使うだけの授業ではなく、より大局的な視点に立って ICT を生かしているという意識が醸成された。

- マイクロソフトが提供する無償のスクールリサーチのウェブアンケート調査を活用することにより、「生徒中心の授業の提供」「クラスを越えた学びの拡大」「ICTの活用」の3つの観点から21世紀型教育への取り組み状況・進捗を自分たちで把握できるようになります。学校・先生との意識共有するツールとして活用いただき、今後の具体的な活動につなげていくことを支援していく。

# 山梨県 教育分野人材育成プログラム

## 具体的活動とスケジュール

### ● ICT スキルアッププログラム e ラーニング 提供

高校教員及び特別支援学校の教員を対象に、「ICT スキルアップオンライン」の e ラーニング プログラムを提供した。

#### 役割分担

山梨県教育委員会 … 企画、登録者管理等  
日本マイクロソフト … プログラム提供等

実施期間	参加者
2011.5/1～2012.3/31	142 名

<主体：県・日本マイクロソフト>

### ● 十年経験者研修

県内教職員の十年経験者研修において「学力向上と ICT 活用」と題した講演を実施した。

#### 役割分担

山梨県教育委員会… 企画、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣

#### 講座タイトル

「学力向上と ICT 活用」

場所	開催日	参加者
総合教育センター	6/16	49 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

### ● 教育課程研究集会 情報部会

生徒の情報リテラシーやセキュリティに対する意識向上を図るための講演を実施した。

#### 役割分担

山梨県教育委員会… 企画、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣

#### 講座タイトル

「生徒に身に付けさせたい情報リテラシー」

場所	開催日	参加者
総合教育センター	8/8	22 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

# 山梨県 教育分野人材育成プログラム

## 総括

### 参加者の声

#### (アンケート調査から)

##### ● 十年経験者研修

「詰め込み式の黒板とチョークを用いての授業と対極にあるコンピュータをインタラクティブに用いる指導テクニックは21世紀で最も必要な内容だと思いました」

「21世紀型スキルの大切さと必要性を感じました。『情報』を生徒が道具として活用できるよう授業内に取り入れなくてはならないと思いました」

「生徒の実態から、直接的な活用には制限があるが、学習者中心の考え方や評価表への活用、映像教材、疑似体験などに活用できる場面は多くあると感じた」

「難しい内容だが、心理効果なども合わせて考えると、ICT活用の必要性も理解できた」

「対面型のコミュニケーションを大切にしながら、効率良く学習する方法としてPCを利用することは良い」

「能動的に学習できることが知識の定着につながる事がわかった」

「ジグソー学習は生徒の説明力の向上に役立つと感じました。リスニング、スピーキング力の向上には、少なくとも、活用可能だと思いました」

「ICT活用、最初は難しく考えてしまったが、講義を受けて、普段活用している個別指導が生徒たちに有効な指導法であるということを理解できました」

「情報処理の授業でも操作方法を教えるだけではなく、PCを利用してeラーニング教材の作成などにもチャレンジしてみたい」

「見えない物を可視化する工夫を見直せた。他教科の先生方から、視点の異なる考え方を聞かせていただいたので、参考にしたいと思う」

「21世紀型スキルは、これからの生徒に必要なスキルであり、学校で触れることは大切だと強く感じました。授業内でもネットで見せるなど取り入れやすいところから始めたい」

##### ● 教育課程研究集会

「被害にあうことを前提として対策を考えておく必要があるという話は大変リアルで説得力があった」

「セキュリティについてまだまだ自分も勉強不足であるし、最新の技術動向についての研究が必要」

「インターネットにおける最新の脅威について話し、意識を持ってネット社会で生活できるよう生徒に話をしたい」

「普段の生活の中で使っているネットワークが危険な場所であることを授業を通じて、生徒に伝えていきたい」

### 県担当者のコメント

#### 山梨県教育委員会 高校教育課 指導担当 主幹・指導主事 永田典弘氏

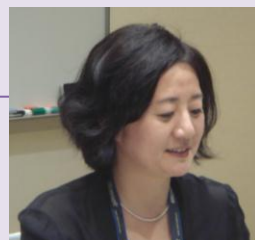
生徒の学習意欲を向上させ、思考力・判断力・表現力を育成するためには、ICT機器を活用した教育活動の充実が必要です。今回、特に、教員のICT機器活用能力の向上が大きな課題としてあげている中、「協働プログラム」を通して、eラーニングによる自己研修に取り組むことができたのは、とても効果的でした。また、「情報」の指導教員や中堅教員に対して、ICTのリーダーとして必要な情報モラルや情報リテラシー等について指導頂き、深く感謝しております。今後とも指導をよろしくお願いいたします。



### 日本マイクロソフト担当者のコメント

#### 日本マイクロソフト株式会社 公共インダストリー統括本部 アカデミックプログラム マネージャー 西嶋美保子氏

山梨県は、全国に先駆けて教職員1人に1台のパソコンを整備したICTの先進県です。今回のプログラムを通じて、教職員の方々にICT活用の意義と、その基盤となる21世紀型スキルの重要性を伝えることができたと思います。この基盤をベースに、今後先進的な教育を実践されることを期待しています。





# 山梨県 医療機関関係者支援プログラム

## 概要と成果

山梨県では、医師不足解消に向けた医師修学資金貸与制度を創設するとともに、山梨大学と連携し、全国最多の医学部定員や地域枠の創設・拡充を図り、地域の公立病院等への医師の確保・定着に取り組んできた。さらに 2010 年 4 月に、県立病院を「地方独立行政法人山梨県立病院機構」に移行し、弾力的・効率的で透明性の高い運営を行うことで、県民に、より一層信頼される質の高い医療の提供に取り組んできた。こうした取り組みをさらに加速するべく、山梨県と日本マイクロソフトは、山梨県立病院機構と連携し、県内の医療機関関係者の業務効率化やスキルアップにつながる「医療機関関係者支援プログラム」を実施した。

医療従事者向け講習会 初級編



医療従事者向け講習会 応用編



## 活動概要

- 地域医療を推進するうえで必要となる ICT の導入や利活用促進の方策を探るとともに、医療従事者のさらなるスキルアップを目指し、セミナーを開催した。
- 山梨県立中央病院、山梨県立北病院の医療従事者、また県内病院の医療関係者を対象に、Microsoft Office の活用法を学んだ。
- 5 月に行われた第 1 回は初級編、9 月に行われた第 2 回を Excel 中級編、2012 年 2 月に行われた第 3 回を PowerPoint 中級編とし、毎回、時間帯を分け同じ内容を複数回実施するなど、自分のレベルや業務、勤務時間に合わせて受講できるよう工夫した。
- 今後の医療機関に必要とされる クラウド コンピューティングなどの最新技術やサービスに関する内容も第3回目のセミナーで紹介した。

## 協力体制と生まれた成果

- 山梨県 情報政策課と山梨県立病院機構 が主催し、日本マイクロソフトが講師と教材を提供してセミナーを開催した。
- 日頃から Office を利用している医療機関関係者も多いが、業務が忙しいため、これまでは効率的な活用法を学ぶ機会が少なかった。講習会受講により、効率的にドキュメントを作成するための機能や Tips を学ぶことができた。これを業務に生かすことで、生産性の向上が期待できる。
- セキュリティに配慮したドキュメントの作成方法などを学んだことが、医療従事者のセキュリティ意識向上につながった。
- パソコンへの抵抗感を持っていたベテランの医療機関関係者に、ICT 活用の有効性を認識していただけた。

## プログラムの持続可能性

- 講習会に参加した多くの医療機関関係者が、このような機会があればまた参加したいとの意思を示しており、今後の ICT 活用の可能性が広がった。
- 講習を受講した医療機関関係者の ICT スキル向上が、医療現場の生産性向上につながり、患者と向き合う時間を増やし、医療サービスの質の向上につながることが期待できる。
- 医療機関関係者から講習会を希望する声が高まれば、定期的な ICT トレーニングが実施される可能性がある。

# 山梨県 医療機関関係者支援プログラム

## 具体的活動とスケジュール

### ● 医療機関での Microsoft Office の効果的な活用方法

医療従事者を対象に ICT スキルを習得するための講習会を実施

#### 役割分担

山梨県・県立病院機構… 企画、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣、教材提供等

	開催日	参加者
第 1 回	5/31	90 名
第 2 回	9/20	25 名
第 3 回	2/21	39 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

#### 内容

- 第1回 「医療機関でのMicrosoft Officeの効果的な活用法」  
～ Word・Excel・PowerPointの基本的な使い方を学びたい初心者の方へ ～  
(1)16:00～ (2)17:00～ (3) 18:00～
- 第2回 「医療機関でのEXCELの効果的な活用法」  
～ 実務に役立つ Excel の活用方を学びたい方へ（中級編） ～  
(1)16:00～ (2)17:00～ (3) 18:00～
- 第3回 「医療機関関係者向けICT活用講習会」  
・ PowerPointの有効的な活用法（中級編）  
～効果的な発表資料を作成するには～  
・ ネットで使えるOffice等のソフトと便利なサービス  
(1)16:00～ (2)17:30～

# 山梨県 医療機関関係者支援プログラム

## 総括

### 参加者の声

「医療機関関係者向けということで、講習会に参加させていただきました。業務上、PowerPoint を活用する機会が多々ありますが、毎回一つのページを作成するだけでも手間と時間がかかってしまい、しかもレイアウトも統一性のあるものが上手に作成できずに、どうにかできないものかといつも悩んでいました。今回の講習会では、そういった悩みが一気に解決しました。今後のプレゼンテーションで効果的な演出ができるように是非活用していきたいと思います」（日下部記念病院 事務部医事課 堀野準一氏）



「現在の日本は超高齢化社会となり、ますます多職種連携協働・チーム医療が重要、不可欠な社会状況になってきています。良質な医療や予防対策（誤嚥性肺炎）・口腔機能の維持（口腔ケア）に関心が高まり、いろいろなアプローチ方法などを実際の症例などご紹介しながらのプログラム作製に活用しています。学んだ内容が、即実践に活用でき今後も、さまざまな機能を試せるようにと考えています。参加してとても勉強になりました」（山梨県立中央病院 口腔外科 主任歯科衛生士 中島由美氏）



「最近、当院でも口腔ケアについて力を入れており、口腔ケアについて講習会を開く機会が増えました。その際、当院での傾向と対策を練るには、データが必須となります。また、発表には、PowerPoint を利用しなければなりません。パソコンに疎い私には、今回とっておきの勉強会でした。おかげさまで、わかりやすい当院にあった講習会を開催できました」（山梨県立中央病院 口腔外科 主任歯科衛生士 佐野美穂氏）



### 県担当者のコメント

**山梨県企画県民部 情報政策課 情報企画担当 主査 入倉由紀子氏**

近年、医療現場においても ICT 利活用は不可欠なものとなってきています。今回、県立病院機構と協力し、県立病院をはじめ県内病院を対象に、医療機関関係者向け ICT 利活用講習会を開催しました。Excel や PowerPoint の便利な機能等パソコンの活用法や、ネットで使える便利なクラウドサービス等について学んでいただく機会となりました。県内 11 病院から参加いただき、ご好評をいただきました。新たに学んだ機能等が病院内で伝達され業務に活かされることと期待しております。



### 県担当者のコメント

**地方独立行政法人 山梨県立病院機構 中央病院 事務局 総務課 副主査 斉藤杉太郎氏**

エクセル表やパワーポイントのスライド作成など、病院において業務でパソコンを利用する機会は多いのですが、日常の診療業務に追われてしまい、その活用方法などを習得する機会がありませんでした。今回、日本マイクロソフト様との協同により、このような貴重な機会をいただきまして、医師、看護師、コメディカル、事務など多くの職員が分かり易い資料の作成方法などを学ぶことが出来ました。当院は山梨県随一の病院として学会での発表など世界に発信する機会も多いですので、今回の内容が今後、活かされると思われま



### 日本マイクロソフト担当者のコメント

**日本マイクロソフト株式会社  
公共インダストリー統括本部 プログラム マネージャー 清水由香氏**

山梨県の担当者や、山梨県立病院機構の方、受講された医療機関関係者の方々、みなさん大変意欲の高い方ばかりで、とても充実した講習会になりました。今後も、山梨県と連携を取りながら、医療機関の生産性向上や医療サービスの質向上につながるICTの活用情報を提供していきたいと考えています。



# 山梨県 農業従事者支援プログラム

## 概要と成果

日本マイクロソフトは、2008年7月～2009年3月にかけて、全国女性会館協議会を通じて山梨県立男女共同参画センターで行われた農業女性の経済的自立の実現および能力開発に関する支援プログラムを支援した。その活動を通じて、農産物や安心安全な手作りお菓子、加工食品のネット販売（やまなしときめきネットショップ）などの成果が生まれた。こうした成果を発展させ、県内農業の一層の振興を図るため、山梨県との連携によりICTを活用できる経営感覚の優れた担い手を確保・育成するべく「農業従事者向け支援プログラム」を実施。このプログラムを通じて、企業の農業参入を含めた多様な担い手の確保と、県オリジナル品種や付加価値の高い加工品の開発、販路の拡大・開拓の支援を行い、高収益農業の実現に貢献することを目指した。

### 農業従事者向け経営能力向上講座



ケーススタディを  
グループディスカッション



パワーポイントで事業計画を  
まとめ、クラウドに保存した  
ファイルを自宅で作業



講座終了後の意見交換会



最終会の事業計画発表と  
講評会

## 活動概要

- 地域農業の持続的な発展を図るには、経営感覚の優れた担い手の確保・育成が不可欠。こうした担い手を育てるため、経営改善を図ろうとする農業従事者や、新規に農業をはじめた意欲的な農業従事者に対し、農業分野でICTを活用するための講座を実施した。
- 慶應義塾大学の協力を得て、他県の先進的な事例を研究したり、PowerPointを使った事業計画書の作成法を学んだり、事業計画の発表を行うなど、実践的な内容の講座を実施した。
- 農業の多様な担い手の確保・育成、高収益農業の実現を支援するという県の政策を、ICT活用の視点からサポートする新しい取り組みとなった。
- 農業従事者間で、Windows Liveの共通IDを作成。SkyDriveを利用してスケジュールやファイルの共有を行ったり、Web appsを利用するなど、クラウド利用の経験も持っていた。
- Facebookを活用してコミュニティを作成し、農業従事者同士が問題点を共有し、つながりを持てる場を創出した。

## 協力体制と生まれた成果

- 慶應義塾大学から総合政策学部准教授 兼 メディア研究科委員の飯盛義徳先生、SFC研究所 上席所員の横瀬勉先生、慶應義塾イノベーションビレッジインキュベーション マネージャーの廣川克也先生を講師に招き、次世代の農業の在り方、他県の事例研究、事業計画の立案・評価など、これまでにない農業従事者向け講座を実施。参加した農業従事者は、経営戦略的な視点で農業を捉えることやICTを活用することの重要性を学んだ。
- 山梨県 情報政策課が主体となってプログラムを組み立てたことにより、『農業と情報化』という新しい視点の農業従事者支援を実現できた。
- 県内各地から生産分野を超えて意欲的な農業従事者が集まり、グループワークや意見交換が活発に行われ、地域を超えた新しいつながりが生まれた。
- Windows Live や Facebook の活用により、農業従事者にとってのクラウドの有効性を認識することができた。

## プログラムの持続可能性

- 農業従事者は、今回の講座でICTスキルや戦略的思考を学んだことで、新しい販路の開拓や付加価値の高い加工品の販売方法など、高収益農業実現のための礎を築くことができた。
- 山梨県 情報政策課にとって農業従事者支援の取り組みは初めてだったが、参加者のモチベーション向上やコミュニティ醸成という大きな収穫を得ることができた。この知見を今後の政策に生かすことで、新たな農業支援につなげることが期待される。
- プログラム終了後も、Windows Live や Facebook を通じたコミュニケーションが継続的に行われている。農業従事者同士の意見交換はもちろん、講師の先生方への事業計画に関する質問など、発展的な活動が行われており、今後も活動の拡大が期待できる。
- 今回の参加者が立案した事業計画の進捗や成果を発表できる場が定期的に設けられ、事業計画が実現することに期待したい。



# 山梨県 農業従事者支援プログラム

## 具体的活動とスケジュール

### ● 農業従事者向け経営能力向上講座

地域農業の持続的な発展を支えるため、経営感覚に優れた担い手の確保・育成を目指す講座を開催した。

#### 役割分担

山梨県 … 企画、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣、教材提供等

#### 内容

	開催日	参加者
第 1 回	11/10	12 名
第 2 回	11/24	14 名
第 3 回	12/15	11 名
第 4 回	1/13	12 名
第 5 回	2/2	9 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

#### ・ 第 1 回「ガイダンス・情報技術とマネジメント」(飯盛義徳先生)

受講者に事例の成功要因と情報技術による農業振興を成功させるためのポイントを考えさせる

#### ・ 第 2 回「ケースディスカッション」(横瀬勉先生)

「一坪ショップのきりしまフラワー」に代表されるユニークな営業戦略で、生花業界を改革し、注目を集めるきりしまフラワーの成長分析とその発展について考える

#### ・ 第 3 回「ケースディスカッション」(横瀬勉先生)

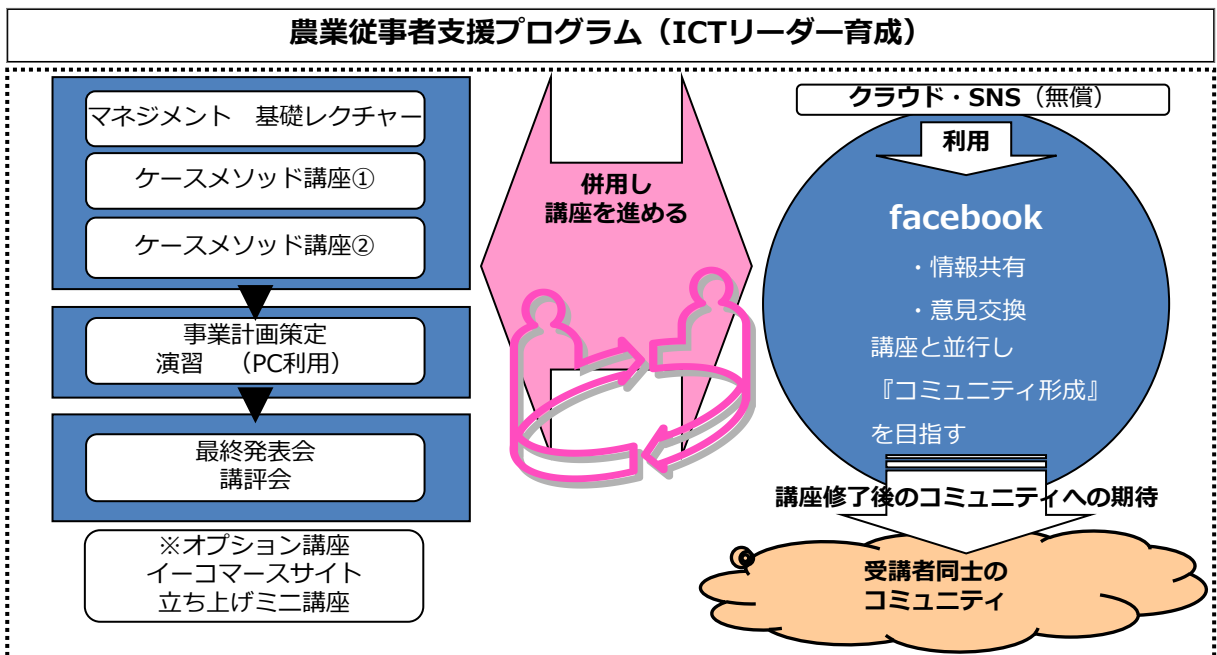
ICT を利活用して地域の農産物資源を展開している事業者の事例を取り上げ、経営戦略全般の理解を深める

#### ・ 第 4 回 「事業計画作成演習」(廣川克也先生・田崎輝美先生)

(株)カルク 田崎輝美氏より「PowerPoint の使い方」についての演習。慶應藤沢イノベーション ビレッジ 廣川克也氏より「ビジネスプランに必要な項目について」の講義を開催。その後、各自が事業計画の作成を行う。

#### ・ 第 5 回 「事業計画の発表」(横瀬勉先生)

代表者6名が事業計画発表のデモンストレーションを実施。講評の後、「EC サイト立ち上げミニ講座」(講師：シーソフト代表 塚田将久先生)を開催。



# 山梨県 農業従事者支援プログラム

## 参加者の声

### 参加者の声

「この講座を受講し、自分の中のもやもやしたものが一気に晴れたような感動を覚えました。ケースについて相互に意見を交わしていくワークショップは、意見が白熱し時間が足りないくらいでした。PowerPoint を使っての事業計画作成では、自社を根本から見つめなおすこととなり、難しくもやりがいのある経験となりました。毎回の講座終了後の Facebook 上でのやりとりや、SkyDrive からの事業計画の編集作業などは、進化し続ける ICT 活用による農業の可能性を強く実感しました。お世話になった皆様ありがとうございました」（農事組合法人 アグリONE 代表理事 風間博文氏）



「山梨県経営能力向上講座では、お世話になりました。先生各位、マイクロソフト、情報政策課の皆様、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。この講座では、IT + C ということで勉強させていただきました。往々にして、農家はいい作物を作るという栽培技術に、力を入れてしまいます。その作物は系統出荷され、売られます。この場合、マーケティング、ニーズ、お客さんの声、価格の設定など多くの事が触れられず販売が終わります。付加価値をつけたものを自分で売ることを学ばせていただきました」（株式会社桃太郎- t 代表取締役 田中久氏）



「私は忍野村で農業を始めて今年で3年目になります。農業をしている知り合いはいませんでした。今回このような機会をいただき、沢山の方々と知り合いになることが出来ました。一番良かったと思うことは、ケースディスカッションでした。一つのケースについて、自分が今まで経験してきた事などから、自分だったら『こうする』という意見を出し合いました。自分では考えもしない素晴らしい意見、色々な考え方があり、非常に勉強になりました。講師の先生方、日本マイクロソフト、県の皆様、本当にありがとうございました」（富士山麓農業の里株式会社 代表 高村権明氏）



### (アンケートから)

#### ● 農業従事者向け経営能力向上講座

「ディスカッションを行うことによりさまざまな方の意見が聞けたので、非常に良かった」  
「知的レベルが高く、難しいと思う部分もありますが、手ごたえがあって、やりがいにつながります」  
「いどりの事例研究はとても勉強になりました」  
「自分の営業をICTを使ってやってみたい」  
「他の参加者の方々と色々な話しが出来てよかった」  
「もっと回数を増やしてほしい」  
「事業計画をたてることで自分の考えの整理にもなると思った」  
「この講座に参加してICTを知ることが出来ましたが、ただおどろくばかりです」  
「考え方によって物の見え方が変わることを体感した」  
「月の零の取り組みは本当におもしろかったです」  
「発表はしんどい。でも楽しかったです。質疑講評は参考になりました」  
「このような講座に参加できて本当によかったです。ありがとうございました」  
「他の方のやりたい事。やっている事がわかってよかった」



# 山梨県 農業従事者支援プログラム

## 総括

### 県担当者のコメント

**山梨県企画県民部 情報政策課 情報企画担当 副主査 名取浩樹氏**

農業と ICT。一見遠いようですが、今最も可能性に満ちている分野だと思います。ケーススタディ、Facebook での仲間作り、SkyDrive の活用、PowerPoint の事業計画作成とプレゼンテーション。今回日本マイクロソフトとの協働により実施したこの講座は、実に刺激的で充実した内容でした。時間が足りなくて受講者の皆様には申し訳ありませんでしたが、ご協力いただき感謝申し上げます。山梨の農業が ICT という心強い仲間を得て、さらに飛躍するよう、一緒に ICT の活用を広めていきましょう。



### 県担当者のコメント

**山梨県農政部 農業技術課 普及指導担当 副主幹 中澤孝雄氏**

農業者が農作物の生産から加工、販売まで一連で行う農業の 6 次産業化の取り組みが始まっています。特に販売面ではインターネットの活用など、農業における ICT を利用する機会は多くなると思われます。今回、日本マイクロソフトとの地域活性化協働プログラムにより実践的な講座が実施できたことは大変有意義なことでした。講座を受けた農業者は事業計画の作成方法や ICT の活用など今後の活動に役立てて頂けると期待しています。



### 日本マイクロソフト担当者のコメント

**日本マイクロソフト株式会社  
社長室 企業市民活動推進部 松原朋子氏**

農業従事者向けのプログラムは、全国初の試みでしたが、県担当者さまの熱意と慶應義塾大学の先生方との協働のおかげで、事例分析から経営戦略、パワーポイント講座やクラウド実践まで踏み込んだ、これまでにない講座をつくりあげることができました。このプログラムを通じて生まれた多くの方々との出会いが、山梨県の農業の発展につながり、地域全体を盛り上げる力になってくれたら、大変うれしく思います。



# 山梨県 IT ベンチャー支援プログラム

## 概要と成果

山梨県は、中小企業の経営革新に向けた取り組みを支援することにより、県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を目指してきた。また「成長分野を支えるプラットフォームの充実」という目標を掲げ、地域産業を担う人材の育成や、産学官連携、ICT 利活用の推進に取り組んできた。山梨県と日本マイクロソフトは、こうした県の産業振興策を支援するため「IT ベンチャー支援プログラム」を実施。県内の IT 企業 3 社を対象に技術やマーケティングの面からの支援を行い、最新技術を活用した製品開発と PR 効果の向上、売上向上、地域経済の活性化を目指した。さらに「Windows Phone 7 講座」を実施し、成長分野であるスマートフォン市場へ参入するための支援を行った。

### マイクロソフト IT ベンチャー支援プログラム US 研修ツアー



### Windows Phone 7 講座



## 活動概要

- 支援対象として、株式会社シップス、株式会社ジーンズ、株式会社ネクストビジョンを選定。認定証授与式において認定証、目録の授与を行うとともに、各種メディアに対して支援対象となる企業を紹介。また、日本マイクロソフトの Web サイトでも選定企業と準選定企業の情報を掲載し、幅広い PR に努めた。

- 選定企業 3 社をマイクロソフト米国本社に招待し、自治体関係者、ベンチャー企業同士の交流の場を提供。現地では、マイクロソフトの先進技術や事業戦略などのレクチャーが行われた。

- 選定企業を「Microsoft Developer Forum 2011」や「ベンチャーで生かせる最新テクノロジー セミナー」に招待。

- 情報通信月間記念講演会を開催。クラウドコンピューティングの最新の状況と、そこから広がる IT の未来像についてのセミナーを実施。

- 県内の ICT 企業や学生、教職員、一般市民を対象にした「Windows Phone 7 講座」を実施。Windows Phone 7 の概要を学ぶセミナーと、ハンズオントレーニングを行う開発者向けセミナーを計 2 回開催した。

## 協力体制と生まれた成果

- キックオフ ミーティングや US 研修ツアーなどを通じて、他県のベンチャー企業と交流。これまではない横のつながりが生まれた。

- US 研修ツアーを通じて IT の先進技術や研究開発動向を知るだけでなく、ワールドワイドで展開されるマイクロソフトの事業戦略にふれ、世界を視野に入れたビジネスへの気づきにつながった。

- IT ベンチャー支援プログラムの認定ロゴの活用やメディア掲載の機会を通じて、企業の認知度や信頼度が向上した。

- Windows Phone 7 講座を通じて、県内の IT 企業が急成長を遂げているスマートフォン市場に参入するきっかけが生まれた。

- Windows Phone 7 講座は、企業だけではなく起業を考えている学生の参加も多くあり、ここから将来の県経済の担い手が生まれることが期待できる。

## プログラムの持続可能性

- ベンチャー企業と山梨県、日本マイクロソフトとの間に、新たな信頼関係が構築された。各企業とはプログラム終了後も、マイクロソフトのパートナー企業として他プログラムを通じて継続的な連携が行われる。

- 山梨県 情報産業振興室の担当者が、プログラムの活動以外にもマイクロソフト イノベーション センターを訪問して最新の動向を学んだり、コミュニケーションをはかるなど、意欲的な取り組みを実施。蓄積された知識やノウハウ、人間関係は今後の産業振興策に生かされることが期待できる。

- セミナーや US ツアーを通じて、他県のベンチャー企業との間につながりが生まれた。プログラムの次のステップとして、パートナー企業様を対象としたマイクロソフトパートナーネットワークプログラム(MPN)にご加入いただき、継続したマーケティングや技術支援を提供する。選定企業とは、プログラム終了後もこの MPN を通じて継続的に連携を続けていく。

- 企業の開発者だけではなく、起業を目指す学生も、Windows Phone 7 が拓く新しい市場の可能性に目覚めた。今回のセミナーをきっかけに県内の IT 企業が世界で活躍することも期待できる。

# 山梨県 IT ベンチャー支援プログラム

## 具体的活動とスケジュール

### ● IT ベンチャー支援プログラム

IT ベンチャー支援選定企業に対し、開発ソフトやツールの無償提供、技術サポート、マーケティング支援、カンファレンスへの招待、マイクロソフト米国本社ツアーなどの支援策を実施。

#### 選定企業

株式会社シップス 株式会社ジインズ 株式会社ネクストビジョン

開催日	内容	参加者
2/21	2011 年度 IT ベンチャー支援プログラム キックオフミーティング	選定企業
4/19 ~ 4/23	IT ベンチャー支援プログラム US 研修ツアー 2011	選定企業
4/28	認定証授与式	選定企業、準選定企業
5/23	Microsoft Developer Forum 2011	選定企業、
6/25	「ベンチャーで活かせる最新テクノロジー」セミナー	選定企業、準選定企業
10/28	Windows Phone7 開発者向けセミナー (山梨大学)	
12/3	Windows Phone7 ハンズオントレーニング (山梨大学)	

### ● 情報通信月間記念講演会

クラウド コンピューティングの最新の状況と、そこから広がる IT の未来像について紹介する講演会

開催日	参加者
5/26	120 名

<主催：山梨地域情報化推進協議会>  
<協力：県、日本マイクロソフト>

#### 講座タイトル

「クラウドコンピューティングで広がるITの未来」

### ● Windows Phone 講座

Windows Phone 7 の機能や特徴の紹介、およびアプリを開発するためのハンズオン講座

#### 役割分担

山梨県… 企画、会場準備、講座運営等  
日本マイクロソフト … 講師派遣

#### 講座タイトル

第 1 回 「Windows Phone 紹介・開発セミナー」  
第 2 回 「Windows Phone 7 開発講座」

	開催日	参加者
第 1 回	10/28	83 名
第 2 回	12/3	24 名

<主体：県、日本マイクロソフト>

# 山梨県 IT ベンチャー支援プログラム

## 総括

### 参加者の声

#### ● IT ベンチャー支援プログラム

「クラウドコンピューティングが注目される中、オンプレミスシステムを受託開発してきた弊社にとって、今までの資産を生かしながらどう対応していくかもテーマの一つとしてありました。オンプレミスとクラウドの連携について、US 研修ツアーで学んだ、Window Azure プラットフォーム、Office365 等のクラウドサービスの技術解説が大変参考になりました。また、イベントなどでは、日本マイクロソフト株式会社やプログラム参加企業の皆様とコミュニケーションをとることもできました。情報交換をする中で、問題解決のヒントが生まれることもあり、大変有意義なものでした。今後は、本プログラムで得た知識・経験を横展開していき、より一層、自社開発体制のスキルアップを促進していきたいと考えております」(株式会社シッブス 開発部 課長 システムエンジニア 渡邊真昭氏)



「今回の IT ベンチャー支援プログラムに参加したことで、マイクロソフト社に対する意識が変わりました。マイクロソフト社が行っている様々な取り組みを知ること、技術力だけではなく、パートナーを大切にする企業だとわかり、共感できました。また、マイクロソフト本社への US 研修ツアーでは、マイクロソフト社のテクノロジーや今後の方向性を知ることができ、非常に有意義な体験ができました。本プログラムで得た経験は今後のビジネスの可能性を大きく広げることになったと実感しています。今後は山梨の IT 産業を牽引していけるような企業を目指します」(株式会社ジインズ、ネットワークシステム部 リーダー 水原 智広 氏)



「私たちは、位置情報を活用した Azure プラットフォームによる Web Service の商品化を目指して、本支援プログラムに参加させていただいた。Azure などの最新プラットフォームでの開発は、時間とリスクから小規模な企業では敷居が高くなかなかチャレンジできないが、マイクロソフト社のバックアップにより安心してチャレンジすることができた。現在、Web Service を活用した、いくつかのビジネス用モバイルアプリの商品化に向けて開発を続けている。今回のプログラムでは、最新プラットフォームの技術支援もさることながら、県内外の同業他社様との情報交換の機会を頂いたことも期待以上の大きな成果だと感じている」(株式会社ネクストビジョン 代表取締役 高山尚文氏)



### 県担当者のコメント

#### 山梨県企画県民部 情報政策課 情報産業振興室 副主幹 村上宏之氏

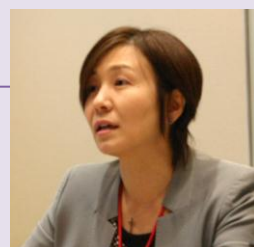
本県では、他の産業と連携して新産業・新分野の創出を促進する情報通信産業を振興するため、産学官が連携して人材育成事業や研究開発事業等の様々な取り組みを進めており、本プログラムもその一環として実施した。プログラムに関連して技術セミナー等も開催していただいたため、地域 ICT 企業や大学生等も参加することにより、プログラムの選定企業だけでなく地域の様々な人を対象にクラウドや Windows Phone 等に関連する最新技術に触れる貴重な機会を得ることができた。



### 日本マイクロソフト担当者のコメント

#### 日本マイクロソフト株式会社 デベロッパー&プラットフォーム統括本部 ビジネスインキュベーショングループ エグゼクティブマネージャ 奈良郁枝氏

山梨県は、高速通信網の整備などを展開する IT 先進県であり、県担当者も企業も大変意欲的な方ばかりだと感じました。今回のプログラム以外にもパートナー企業様を対象としたプログラムなどを通じて、この 1 年間に築いた信頼関係をベースに、今後も日本マイクロソフトをうまく利用していただき、お互い Win - Win の関係を築いていきたいと考えています。





# 地域活性化協働プログラム 講師陣

## NPO基盤強化プログラム講師

ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役社長 森戸裕一氏

今回、山梨県と日本マイクロソフト社の共同プログラムに関わらせてもらってありがとうございました。時代は超情報化時代となり地方都市や中小企業、NPO団体などは自ら積極的に情報発信しないと社会から忘れられるような状況になっています。組織の情報化という仕事の効率化やコスト削減が注目されることが多いのですが、今回のプログラムでは組織力強化のためのワークスタイルの変革などに着目され、時間を生み出すための会議のやり方の変革や広報力を上げるためのチラシ作成、組織のブランド力を上げるためのプレゼンテーションなどが提供されています。是非、継続してセミナーなどで習得した考え方を多くの方々に広げていってください。ソーシャルメディアなども普及して組織との関わり方なども大きく変化してきました。変革期は大きなチャンスの到来期でもあります。是非、山梨を盛り上げていってください！



## 高齢者向けICT活用推進プログラム講師

社団法人みらいウェブ推進協会 副理事長 青山司氏

「ICTの利活用は、シニアにあり」パソコンやインターネットは、未だ、シニア層への啓蒙と普及は、なかなか進んでいないという現状があります。今回も、山梨県を通じて、たくさんのシニアの方が今回の講座に参加されました。インターネット活用や、絵、写真、ムービーの作成、等々、そこで気が付かせていただくのは、人生経験が多い分、たくさんの応用(様々な知恵や工夫)が可能となる点です。これからのインターネットの世界もシニアが多く参加されることにより、より健全な世界となることでしょう。更に、パソコンを生活や趣味で使いこなしてみてください。今回、ご参加いただいた皆さまにこころから感謝とエールを贈らせていただきます。



## 農業従事者支援プログラム講師

慶應義塾大学総合政策学部准教授 (MBA / Ph.D.) 飯盛義徳氏

「農業従事者向け経営能力向上講座」に参加いただき、ありがとうございました。皆さまの積極的な議論で、マネジメントに関する実践知が創造できたと感謝しております。農産物を展開する場合、①資源の認識、②人々のつながり形成・意味づけ、③資源の戦略的展開、という資源化プロセスを打ち立てることが大切だと考えています。ICTはこの全てのフェーズに有効です。本講座では、講義、ケースメソッドを融合し、演習と結びつけるブレンDED・ラーニングを取り入れ、問題解決能力、行動力、起業家精神などを育むようにしました。大切なことは、「躬行実践」です。ともに学んだことが、少しでも皆さまの実践のお役に立てばと願っております。



## 農業従事者支援プログラム講師

慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 (訪問) 横瀬勉氏

皆さん方の「農業従事者向け経営能力向上講座」を通じての農業に対する熱い思いに触れ、我々もこれからの日本の基礎体力としての農業の役割の大きさを改めて認識いたしました。基本的な経営手法は、ICTを活用することにより、より広範囲な影響と実践までのスピードアップが可能となります。いままでは机上の空論、あるいは限定された場面での実践であったものが、戦略的経営手法を農業に当てはめ、ICTを取り込むことで、可能となってきます。是非とも皆さんに柔軟かつ斬新な発想をこれからも持っていただき、講座での活発な議論と問題意識をもとに、ICTを活用されて新たな農業のあり方を示されることを期待しております。



## 農業従事者支援プログラム講師

慶應義塾大学SFCインキュベーションマネージャー 廣川克也氏

皆様、長期間に渡る研修、お疲れ様でした。このような講座で様々なつながりができることはとても貴重だと思いますし、通常のお仕事もある中で積極的に参加された皆様のチャレンジ精神も素晴らしいと思います。こういった活動を通じて、個人の力が増し、つながりの力が増し、地域の力が増していくのだと思います。一朝一夕に大きな成果となることはなかなかありませんが、少しずつ積み重ねていくしかありません。既存のイメージや先入観に囚われない新たな視点を持つことを大切に、また、未来は誰かが作ってくれるものではなく、自分たちが切り拓くんだという起業家精神を持って、ぜひ新しい価値を生み出して頂きたいと思います。



# 山梨県地域活性化協働プログラム 成果報告会

## 横内正明知事への成果報告

日本マイクロソフト 執行役 パブリックセクター 統括本部長の織田浩義氏、および同社 業務執行役員 社長室長兼シナジーシップリードの牧野益巳氏が、山梨県庁の知事室を訪問し横内正明知事に成果報告書を手渡し、プログラムの成果を報告した。

横内知事は、各プログラムの内容と成果に触れ、「当初は、IT ベンチャーへの支援が中心になると考えていましたが、高齢者や教育分野、医療、農業など幅広い分野でプログラムを実施し、多くの成果を得られました。このプログラムを通じて、山梨県における ICT 活用の場がさらに広がったと考えています。特に、私は農業分野における ICT の活用に期待しています。山梨県には優れた農産物があるのに、マーケティングや販売に課題があると感じるので、その部分に ICT を活用して情報を発信し、オンライン販売などを行い、新しい農業にチャレンジしてほしい」とコメント。これに対し織田氏は「今回のプログラムの成果は、山梨県の職員の方々の努力、尽力の結果、成し得たものであり、私たちだけでは実現できませんでした」と述べ、牧野氏は「過去に、市町村を含め 45 か所の自治体と地域活性化協働プログラムを展開してきましたが、7 つのプログラムを同時に展開したのは山梨県が初めてでした。これだけ多くのプログラムを実施し、成果を上げられたのは職員の方々の優れた実行力と推進力の賜物です」と感謝の意を表した。



横内正明山梨県知事を表敬



知事へ1年間の成果を報告



協働に従事した山梨県と日本マイクロソフト関係者

## 成果報告会

2012 年 3 月 13 日、山梨県甲府市のベルクラシック甲府で成果報告会が開催された。成果報告会には、県職員、NPO、企業、市民などプログラムに関わった約 100 名が訪れた。冒頭で山梨県企画県民部の丹澤博部長が「今回のプログラムを通じて参加者同士のつながりができ、東日本大震災避難者支援の地域情報データベースも実現しました。これは日本マイクロソフトの協力によって実現したものであり、感謝しています」と挨拶した。次に、山梨県企画県民部情報政策課 伏見健課長がプログラム実施の経緯と具体的成果を説明。これまでに延べ 35 回の講座が行われ、918 名が参加したことを報告した。続いて、日本マイクロソフトの牧野氏が「今回のプログラムを通じて実現した出会いがさらに深まること、そして今後の活動が、地域に根ざしていくことに期待します」と挨拶。この後、協働プログラムの参加者を代表して、NPO 法人バーチャル工房やまなし副理事長の田崎輝美氏、農事組合法人アグリ ONE の風間博文氏、ジインズ ネットワークシステム部リーダーの水原智広氏が参加報告を行った。

報告会終了後には日本マイクロソフト テクニカルソリューション エバンジェリストの西脇資哲氏による「ICT の未来」と題した講演が行われ、クラウドや Kinect、Windows 8 などの最新技術によって変わるコミュニケーション、コラボレーションの世界が紹介された。



会場にはNPO、企業、市民、県職員などプログラムに関わった約 100 名が来場



日本マイクロソフト 西脇資哲氏による基調講演では様々なデモを通じて「ICT の未来」を体感した



約 1 年の協働に取り組んだプログラム関係者



# 山梨県地域活性化協働プログラム 成果報告会

## ●開会・あいさつ

山梨県 企画県民部 部長 丹澤博氏

山梨県では、山梨県情報ハイウェイをはじめとする通信環境のインフラ整備に取り組んできたほか、電子申請の実施など、公共分野での利用を進めてきました。しかし、社会的課題の解決などについての活用はこれからという状況です。今回、プログラムの企画から実施に至るまで、7つの分野で精力的な活動が行なわれました。各種講座の開催にとどまらず、協働プログラム参加者同士のつながりが生まれ、東日本大震災避難者支援の地域情報データベースの構築も実現しました。これらは日本マイクロソフトの協力によって実現したものであり、とても感謝しています。



## ●成果報告

山梨県 企画県民部 情報政策課長 伏見健氏

本県ではこれまで情報ハイウェイの整備を進めてきましたが、今後はICT 利活用を進め、地域を活性化することが求められています。そうした背景を受け、さらなる地域活性化を目指してICT 利活用の促進を図るため、日本マイクロソフトと協働でこのプログラムを実施することになりました。2011年の2月に覚書締結式を行い、以来1年間かけてプログラムを実施し、延べ35回の講座を開催、918名が参加しました。今回のプログラムを通じて築かれたネットワークを大切に、ICTの利活用推進に取り組んで参りたいと思います。日本マイクロソフトをはじめ関係の皆様方には、引続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日本マイクロソフト株式会社

業務執行役員 社長室長 兼 シチズンシップリード 牧野益巳氏

この1年間に展開してきたプログラムは、クラウドがなければ実現できなかったものばかりです。たとえば、シニアの方々はムービーメーカーで編集したビデオをSkyDriveを使って、インターネット上に保存し、別の場所にいる仲間の方々と共有されました。NPO 支援や農業育成のプログラムでは、事業計画の立て方やプレゼンテーションを学び、そこで作成したWord、Excel、PowerPointなどのファイルをクラウドを使って共有されました。参加された皆様は、特に意識することなく気がついたらクラウドを使いこなしていたのだと思います。このようにクラウドというテーマで山梨県の皆様方と協働できたことは、皆様にとっても、今後につながる大きな成果になったと考えています。



## ●プログラム担当者のコメント

山梨県 企画県民部

情報政策課情報企画担当 課長補佐 高橋義徳氏

これまで山梨県では、基盤整備を中心に ICT に取り組んできましたが、今回7つのプログラムを実施したことで、県民に密着した分野で ICT を活用する取り組みを行なうことができました。特に、農業と NPO 支援においては、活動終了後も参加者同士のつながりができるなどの成果が上がりました。県としては、今回ご縁ができた皆様と連携しながら、今後も活動を継続するための支援に取り組んでいきたいと考えています。



山梨県 企画県民部 県民生活・男女参画課

ボランティア・NPO担当 課長補佐 城野仁志氏

2011年8月に基礎講座を開催し、そこに参加された50数名が、その後の「新しい公共」支援事業において ICT を活用して地域の課題を解決する核となる存在になってくれたことが、大きな成果といえます。また、この度のプログラムを通じて生まれた、県内800名ほどの震災避難者の方々の居場所と出番をつくる『やまなし絆ネットワーク』を活用して、今後の支援や支えあいに役立てていきたいと考えています。



# 山梨県地域活性化協働プログラム 成果報告会

## ●参加者からの報告

### NPO 法人バーチャル工房やまなし 副理事長 田崎輝美氏

ICT 指導者養成講座では、課題を抱える NPO が参加し、プロジェクトワークを実施しました。Facebook のグループ機能を通じて、支援される側と支援する側が一緒になって課題を解決するという取り組みにまで発展するなど、多くの学びと気づきを得ることができた 1 年でした。NPO 指導者養成講座は、まさに人づくりの場であり、これが『やまなし絆ネットワーク』という新たな場づくりにつながり、これらが組み合わさって事づくりが始まりました。今後も継続的な活動を進めていきたいと考えています。



### 農事組合法人アグリ ONE 風間博文氏

全 5 回にわたる農業従事者向け経営能力向上講座を受講し、最終的には事業計画の立案まで経験することができました。私自身、昨年農事組合法人を立ち上げて事業計画を立案しているところであったため、大変有意義な学びとなりました。また、Facebook でのコミュニケーション、Windows Live を活用した情報共有なども経験し、これからの新しい農業は、ICT ツールの活用抜きには考えられないことを実感しました。日本マイクロソフトをはじめとする専門家のお話を伺う中で、深い勉強をさせていただきました。



### 株式会社ジインズ ネットワークシステム部リーダー 水原智広氏

開発ツールを無償提供していただいたり、技術的な問い合わせに対応していただいたおかげで、ADMS (アダムス) というソリューション製品を開発することができました。また、プログラムロゴの使用により、対外的な信頼性が高まり、ビジネス面でも恩恵を受けることができました。この成果を発展させ、いずれは山梨県の IT 産業を牽引できる企業になれるようがんばります。



# 山梨県地域活性化協働プログラムからの新たな成果

やまなし絆ネットワーク <http://yamanashi-kizuna.net/>

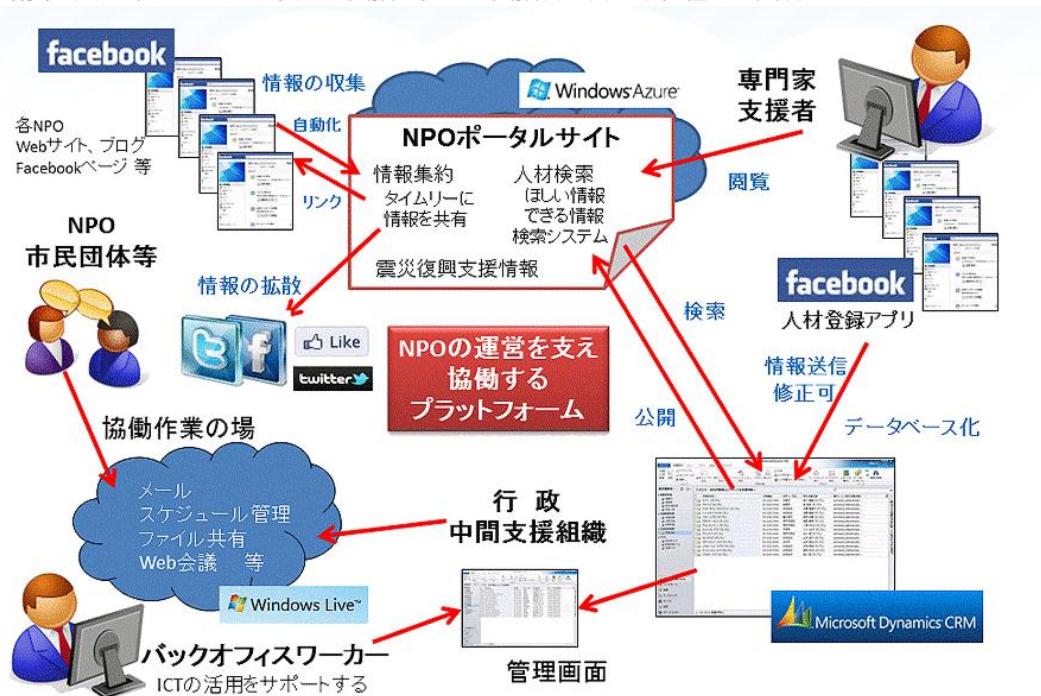
「山梨県新しい公共支援基金」を活用したモデル事業として2012年に採択された「やまなし絆ネットワーク」が、最終報告会が行われた2012年3月13日にサービスを開始した。1年をかけて地域活性化協働プログラムを推進する中で、自治体と企業、NPOによる連携の強化が図られ、その具体的な成果として山梨県、やまなし絆ネットワーク協議会(※)、カルク、日本マイクロソフトの4者が共同で開発したものである。

山梨県とやまなし絆ネットワーク協議会は、県内に約400あるNPO法人が抱える課題として、情報発信・情報収集を効果的・効率的に行うことや人材確保の難しさ、事務処理や管理業務などが煩雑で本来取り組むべき業務に注力しにくいことなどを認識していた。また、東日本大震災の被災者約800名を県内に受け入れた際、受け入れ先のどこで何が必要とされているか把握が困難であること、災害に影響を受けずに業務を継続できるインフラの必要性を認識したことから、NPOや住民、行政、企業がつながり地域を活性化していくコミュニティ基盤が必要であると考え、「やまなし絆ネットワーク」を構築した。

「やまなし絆ネットワーク」の提供により、NPOを始めとした地域の担い手の情報発信力の強化、人と人、人と団体、団体と団体をマッチングし、地域の絆づくり、平時からのネットワーク構築による災害時の対応強化を図る。今後は誰もが居場所のある地域づくりを目指して、やまなし絆プラットフォームの活用をさらに促し、約100団体のNPOの情報集約ができるプラットフォームをゴールに、県内に展開していく。同時に、このしくみを他の地域にも紹介し、ITを活用したよりよい地域づくりが行われることを目指していきたい。

## ■「やまなし絆ネットワーク」の特徴

- ・ ポータルサイトをクラウド（Windows Azure Platform）上に構築し、Twitter やFacebookなどのソーシャルメディアと連携させ、NPO同士、メンバー同士が日頃からつながり、情報交換できるコミュニティを提供。
- ・ NPO、市民団体それぞれのFacebookページに書き込まれた情報を「やまなし絆ネットワーク」に動的に取り込んで表示し、県内のNPO等から発信される情報を一元的にリアルタイムに閲覧可能にするほか、該当するNPO等にすぐ連絡できるようページ上で案内する。
- ・ NPOの支援者を検索できる仕組みを、Microsoft Dynamics CRMで提供。ニーズ(してほしいこと)とシーズ(できること)の効率的なマッチングや、個々の支援に多くの支援者が関わる仕組みを実現。



※「やまなし絆ネットワーク協議会」：協議会構成員（2012年3月現在）：NPO法人バーチャル工房やまなし、NPO法人山梨県ボランティア協会、山梨福島県人会、山梨県（県民生活・男女参画課）、カルク、日本マイクロソフト

# プログラム開始時のプレスリリース

## 共同プレスリリース (平成 23 年 2 月 23日発表) 山梨県とマイクロソフトが ICT を活用した地域活性化で協働

**1. 趣旨** 山梨県の更なる地域活性化を目指し、ICT（情報通信技術）利活用の促進を通じて、個人や団体、組織等の可能性を最大限に引き出すことにより、地域の課題を解決して豊かな暮らしやすい地域づくりの実現に資する。

### 2. 実施期間

平成23年2月23日から平成24年3月31日まで

### 3. プログラムの内容

#### (1) NPO基盤強化プログラム

より良い地域コミュニティづくりを目指し、NPOが自立的かつ継続的に活動する基盤の強化を図るため、県内のNPO及びNPO活動を支援している団体等を対象に、ICTスキルを活用した団体運営のノウハウを習得する講座及び講師となる人材を育成する講座等を開催

〔関係機関〕 県民生活・男女参画課、山梨県ボランティア協会

#### (2) 高齢者向けICT活用推進プログラム

より良い地域コミュニティづくりを目指し、高齢者が地域づくりの担い手としてますます元気に活躍できるよう、県内の高齢者及び高齢者のICT活用を支援する団体等を対象に、ICT活用の利便性を周知するイベント及びICTスキルを習得する講座等を開催

〔関係機関〕 社会教育課、山梨ことぶき勸学院

#### (3) 障害者向け支援プログラム

障害者がICTスキルを身につけることにより、社会参加を果たすなど楽しく豊かな生活を実現できるよう、県内で障害者へのICTサポートを行っている個人及び教育関係者を対象に、障害者のICTスキル習得に対し参考となる講習会等を開催

〔関係機関〕 障害福祉課、新しい学校づくり推進室、各特別支援学校、山梨県、山梨県障害者福祉協会

#### (4) 教育分野人材育成プログラム

教育分野における教育の向上を図るため、県内の教職員を対象としたICTスキル向上のための集合研修及びeラーニング形式の研修システム等を用いた学習活動並びに生徒を対象とした学習支援等を実施

〔関係機関〕 高校教育課

#### (5) 医療機関関係者支援プログラム

医療機関におけるICT利活用の促進を支援するため、県内の医療機関関係者を対象に、ICTスキルを習得する講習会等を開催

〔関係機関〕 山梨県立病院機構

#### (6) 農業従事者支援プログラム

農業分野におけるICT利活用の促進を支援するため、県内の農業及び農業関連事業従事者を対象に、ICTの活用事例を紹介するセミナー及びICTスキルを活用する講習会等を開催

〔関係機関〕 農業技術課

#### (7) ITベンチャー支援プログラム

地域産業の活性化を目指し、成長意欲の高い県内のITベンチャー企業及び中小IT企業を対象に、技術支援やマーケティング支援を実施

対象企業（平成23年2月23日認定）

(株)シップス、(株)ジインズ、(株)ネクストビジョン

〔関係機関〕 情報産業振興室

マイクロソフトの役割	県の役割
企画立案、講師の派遣、講師・技術者の育成、教材・ソフトウェアの提供 等	企画立案、会場の提供、広報活動 等



## ■ 地域活性化協働プログラムに関するお問い合わせ先

---

山梨県企画県民部情報政策課  
日本マイクロソフト 社長室 企業市民活動推進部

[jouho@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:jouho@pref.yamanashi.lg.jp)  
[mjctz@microsoft.com](mailto:mjctz@microsoft.com)



山梨県ホームページ  
<http://www.pref.yamanashi.jp/>



マイクロソフトの  
企業市民活動

マイクロソフトの企業市民活動ウェブサイト  
<http://www.microsoft.com/japan/citizenship/>



山梨県

〒 400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号

**Microsoft®**

日本マイクロソフト株式会社

〒 108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー